

精神科デイ・ケアの機能と転帰に関する大規模調査（診療所分）

研究分担者：五十嵐良雄（メディカルケア虎ノ門）

研究協力者：窪田 彰（日本精神科診療所協会）、肥田裕久（日本精神科診療所協会）、原 敬造（日本デイケア学会）、佐々木一（日本デイケア学会）、山内慶太（慶應義塾大学看護医療学部）

要旨：精神科デイ・ケア等（以下、デイ・ケア等）の現状での活動を整理し、今後のあり方を検討する基礎資料とするため、デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査を実施した。調査は、調査 A として基礎調査、調査 B として新規利用者調査を実施した。本稿はそのうちの診療所についての結果を報告する。

調査 A（基礎調査）は、スタッフを対象とした横断調査であり、315 の診療所より 6,202 人の調査票を回収し、回収率は 50.7%であった。1 年超利用者は 69.9%であり、3 年超利用者については 42.9%と長期利用者が大部分を占めていた。各単位での転帰は、終了や中止・脱落などが 3 ヶ月でそれぞれ 3 人弱であった。利用者の疾患は統合失調症が 38.2%、気分障害が 33.3%を占めていた。グループの目的分類は、患者票ベースで混在型が半数弱、就労に関する社会機能の回復を目的としたものが約 1/5 を占めていた。

調査 B（新規利用者調査）は、スタッフと利用者を対象とした 18 ヶ月間の前向き調査であり、49 施設 184 人の利用者の同意を得て実施した。対象者は、気分障害が 44.8%、統合失調症は 18.0%であり、調査 A と比較して症状は軽症であったが、医師を除く職員加配数は平均 4.3 人（SD4.6）であり、調査 A より手厚い支援が行われていることが示唆された。18 ヶ月間の調査の追跡率は 92.4%であった。最終的な転帰は、26.6%が利用継続、44.0%が終了、21.7%が中止・中断に至っており、全体の 33.7%が復職や就労といった社会機能の回復による利用終了に至っていた。

2 つの調査を通して、デイ・ケア等は疾患や利用の目的によりその機能分化が進んでいることが示唆された。とりわけ短期間に利用の終了が確認できた、復職や就労など社会機能の回復を目的としたデイ・ケア等については、従来のデイ・ケア等とは異なるの固有の機能を有していると思われた。一方で、重症患者を中心に生活機能維持を目的としたデイ・ケア等もその必要性は高い。デイ・ケア等の機能の分化を更に明確に検討するためには、疾患、重症度はもとより、どのような機能回復を目的とし、どのような支援状況であるかを明らかにすることが必要である。またその転帰と総合し、今後のデイ・ケア等の在り方を検討することが課題である。

A. 研究の背景と目的

デイ・ケア等の機能の分化が進んでいる。精神科病院では、入院患者の高齢化およびその地域移行から、急性期治療へのシフトが進

んでいる。入院患者の地域への移行は、入院治療の継続としてのデイ・ケア等の重要性を大きくするものとなった。また、統合失調症の軽症化も短期入院からデイ・ケア等や就労

支援事業の利用を加速させるものとなっている。

気分障害や不安障害については、復職や再就労といった社会機能回復へのニーズの高まりから、都市部の診療所を中心に、目的別専門プログラムが実施されている。また発達障害や一部依存症については、平成30年度診療報酬改定において、疾患別等専門プログラム加算が新設されるなど、評価の対象となっている。

このように機能分化が進むデイ・ケア等の将来構想を作成するために、デイ・ケア等の現状での活動実態を把握する大規模な調査を実施した。本稿は、デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査のうち、診療所に関する報告である。

B. 方法

本調査は調査A：基礎調査、調査B：新規利用者調査の2構成で実施した。対象は、本調査への協力団体である日本精神科病院協会、日本精神科診療所協会、日本デイケア学会、日本うつ病リワーク協会の会員医療機関を中心に、精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科デイ・ナイト・ケア、精神科ナイト・ケア等の実施施設を対象とし、重度認知症デイ・ケアは対象外とした。分析は病院と診療所についてそれぞれ分担して実施し、本稿は診療所分に関する報告である。なお診療所には、無床診療所、有床診療所、精神保健福祉センターを含んでおり、本稿ではこれを総合して“診療所”とする。

本調査における用語の定義は以下の通りである。「単位」は、厚生局に届け出している精神科デイ・ケア等の単位とした。「(デイ・ケア等の)グループ(GP)」は、疾患別、年代別、目的別等に集団を形成し、そのグループごとに異なった内容のデイ・ケア等を実施している場合、その集団ごとの支援を「グループ(GP)」とした。

調査の実施にあたり、日本うつ病リワーク

協会(旧：うつ病リワーク研究会)倫理審査委員会の承認(No.201601)を得て、個人情報の取り扱いに十分配慮し実施した。

調査A(基礎調査)

調査Aは横断調査であり、デイ・ケア等を実施する施設のスタッフに対し、郵送による調査を実施した。平成28年12月に調査票を送付し、平成29年2月に回収した。調査対象日は、施設の概要やデイ・ケア等の実施状況を調査する施設調査では、平成28年11月末日とした。利用者の背景や利用状況などを調査する患者調査は、平成28年12月15日、あるいは当該日にデイ・ケア等を実施しなかった場合は前後1日のうち任意の日を基準日とした。

調査項目は、施設調査では施設基本情報、当該施設の関連サービス、デイ・ケア等届出状況、従事するスタッフ配置、デイ・ケア等のグループ数、実施状況、実施プログラムと目的、直近3ヶ月の利用者数等とした。患者調査は、年齢、性別、居住状況、疾患および治療情報、他に利用中のサービス、利用計画、利用状況、経済的支援サービス利用状況、精神障害者社会生活評価尺度(LASMI)¹⁾評価等とした。

調査B(新規利用者調査)

調査Bは縦断調査であり、調査Aの回答施設から調査協力を募り実施した。対象は、平成29年4月1日から5月31日までの2ヶ月間に、対象施設においてデイ・ケア等を新規に開始した利用者である。対象施設のスタッフにより、書面および口頭による調査の説明を行い、書面による同意を得た利用者を対象とした。調査期間は利用開始より18ヶ月であり、開始月、6、12、18ヶ月後の計4回、利用者本人およびスタッフに対し、郵送によるアンケートを実施した。

スタッフに対する調査票は、調査Aと同様の調査項目とし、利用者本人については、

CIM:Community Integration Measure^{2,3)}による地域生活環境の主観的評価を毎調査時に実施し、CSQ-8J: Client Satisfaction Questionnaire⁴⁾による満足度調査を利用終了時に実施した。

C. 結果

◆調査 A (基礎調査) : 回収率

病院・診療所全体で 1,781 施設に調査票を送付し、867 施設より回答を得た (回収率 48.7%)。そのうち診療所は、621 施設に送付、315 施設より回答を得て、回収率は 50.7%であった。

◆調査 A (基礎調査) : 施設票・基本情報

315 施設の基本情報の結果を調査 A-表 1～表 4 に示す。診療所の内訳は、有床診療所 4 施設 (1.3%)、無床診療所 296 施設 (94.0%)、精神保健福祉センター 15 施設 (4.8%) であった医療観察法の指定通院医療機関の割合は少なかった (11.1%)。同一法人または関連法人が運営する施設・事業所は、該当なしが最も多く (53.0%)、運営があるもののなかでは、障害福祉サービス事業所が最も多かった (19.7%)。

◆調査 A (基礎調査) : 施設票・単位情報

単位情報の結果を調査 A-5～表 10 に示す。デイ・ケア等の届出単位数は平均 1.1 単位 (SD0.3) であり、複数単位を有する施設は少なかった。届け出区分は大規模デイ・ケアが最も多く (50.2%)、次いで小規模ショート・ケア (39.6%) であった。登録している職員数は、医師以外では専従は看護師・准看護師が平均 1.7 人 (SD1.5) と最も多く、次いで精神保健福祉士が平均 1.3 人 (SD1.6) であった。専任では看護師・准看護師、臨床心理技術者が共に平均 0.7 人 (SD1.4) と最も多かった。医師を除く職員加配数については、各職員の当該単位での就業時間数の設問を設定していないため、専従 1 に対し、専任

は 0.5 として計算し、各単位で算出した。その結果、平均 3.4 人 (SD3.5) の加配が見られた。

各単位での平成 28 年 11 月 1 か月間利用者については、利用から 1 年以下の早期加算対象者は 30.1%であった。1 年超利用者は全体の 69.9%であり、1 年超 3 年以下は 27.0%、3 年超利用者は 42.9%であった。平成 28 年 9 月から 11 月の 3 ヶ月間の各単位での利用者の転帰は、利用を終了して復職、就労、就労施設等へ移った人数は平均 2.8 人 (SD5.2)、中止または脱落した人数は平均 2.6 人 (SD5.5) であった。

◆調査 A (基礎調査) : 施設票・グループ情報

グループ情報の結果を調査 A 表 11～表 22 に示す。各施設で有するグループ数は平均 1.6 (SD1.4) であった。グループの割合は、混在型が 32.9%と最も多く、復職支援 18.6%、生活機能維持 11.5%、就労・就学支援 6.6%と続いた。各グループの定員は、混在型が平均 34.2 人 (SD16.5) と最も多く、再就労支援平均 31.0 人 (SD29.3)、生活機能維持平均 29.4 人 (SD17.5) と続いた。平成 28 年 11 月の各グループの実施日数は平均 15.3 日 (SD7.8)、実施時間は平均 90.8 時間 (SD62.7) であった。

最も重要と思われる医師の役割は、利用者の医学的状態の評価が 70.0%と多数を占め、次に重要と思われる役割はスタッフに対する指導助言が 35.7%と最も多かった。医師やスタッフが実施する支援については、スタッフ会議が 91.6%と最も多く、月平均 7.5 回、各回の実施時間は平均 51.3 分であった。外来を除く家族に対する支援は 64.9%が実施しており、その内容は、病気の理解や対応の仕方などに関する悩み相談が 72.2%と最も多かった。

グループの目標は複数回答で対人関係の改善が 90.1%と最も多く、基本的生活習慣の習

得 81.6%、作業能力・持続性の向上が 69.0%と続いた。また 1 週間でグループ内で行われるプログラム数は平均 5.6 (SD5.3) であり、実施時間は平均 1,313.4 分 (SD1,091.8) であった。

◆調査 A (基礎調査) : 患者票・基本情報

315 施設より回収した 6,202 人の患者票のにおける基本情報を調査 A 表 23~表 28 に示す。性別は男性が 61.9%と多く、平均年齢は 46.6 歳 (SD15.3) であった。現在の居場所は、自宅賃貸住宅 (家族と同居) が 57.9%と最も多く、単独世帯は 41.5%であった。調査時の就労状況は、失職 (就労経験あり、就業不可) が 36.4%と最も多く、休職中 18.2%、失職 (就労経験あり、就業可) 16.4%と続いた。心神喪失者等医療観察法医療の対象者は 0.4%とわずかであった。

◆調査 A (基礎調査) : 患者票・疾患情報等

疾患情報等を調査 A 表 29~表 37 に示す。主傷病は統合失調症 (F2) が 38.2%と最も多く、気分 (感情) 障害 (F3) 33.3%と共に多数を占めていた。その他の精神疾患の傷病は、なしが 72.3%であった。身体合併症は、高血圧症 28.3%、糖尿病 22.2%、消化器疾患 21.6%であった。

精神疾患の治療開始日から調査基準日までの日数は、平均 4,812.6 日 (SD4,177.5) と 13 年を超え、入院歴がある利用者は 46.9%であった。入院歴がある利用者の入院回数は平均 3.2 回 (SD3.6) であり、1 年以上の入院は 26.4%見られた。また、入院歴がある場合、入院中のデイ・ケア等の実施は 14.4%であった。また直近の入院の主たる理由は、精神症状が強いため 66.9%、自傷行為・自殺企図の危険性が高いため 6.9%、迷惑行為・他害行為の危険性が高いため 6.7%と続いた。

◆調査 A (基礎調査) : 患者票・精神科デ

イ・ケア等の実施情報

患者票に基づくデイ・ケア等の実施情報を調査 A 表 38~表 48 に示す。当該患者が利用しているグループの目的分類は、混在型は 2,688 人 (46.7%) と最も多く、復職支援 1,079 人 (18.7%)、生活機能維持 803 人 (13.9%) と続いた。利用開始から 1 年を超えている者は 67.8%であり、その理由は症状が不安定が 34.5%と最も多く、本人の希望 33.4%、症状が重度 9.2%と続いた。利用区分は精神科デイ・ケアが 82.4%と最も多く、1 週間の利用時間は平均 19.9 時間 (SD13.0) であった。

患者への意向確認の頻度は、そのほか 34.5%、月に 1 回程度が 26.7%、週に 1 回程度が 12.3%と続いた。終了とするための目標項目は、症状の回復が 29.4%と最も多く、生活維持能力 19.1%、対人関係能力 15.8%と続いた。また主治医は自院が 78.0%であり、精神科医によるデイケア診察以外の精神療法などのタイミングは、デイ・ケア等の実施日に診療が 54.6%を占めていた。

精神科デイ・ケア等を実施する主な目的は、2 つまでの選択で症状や再発のサインへの対処スキルの獲得が 47.3%と最も多く、次いで自己存在感を培う場所確保のため 30.0%と多かった。同時間帯にいくつかのプログラムを設けている場合、どのように選択・決定するかについては、あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に本人がその都度決定が 42.4%と多く、次いでプログラムは 1 種類のみであるが 30.4%であった。

◆調査 A (基礎調査) : 患者票・精神科デイ・ケア等と併用している各種サービス等

併用している各種サービス等の情報を調査 A 表 49~表 55 に示す。診療やサービスについては、薬物療法が 94.8%と最も多く、次いで精神療法等の精神科専門療法が 51.4%であった。精神障害者福祉手帳は、51.2%は持っておらず、2 級取得者は 36.2%であった。障

害支援区分は、申請なしが 58.1%と最も多く、該当者はわずかであった。要介護区分も申請なしが 66.2%であり、該当者はわずかであった。障害福祉サービスの利用者は少なく、最も多かったのは就労継続支援 B 型と計画相談支援であり、共に 7.2%の利用があった。介護保険サービスも利用者はわずかであった。経済的支援サービスは、自立支援医療（精神通院医療）が 95.7%と大多数が利用しており、障害者年金 33.4%、生活保護 22.7%と続いた。

◆調査 A（基礎調査）：患者票・LASMI

LASMI の結果を調査 A 表 56～表 66 及び調査 A-図 1 に示す。精神科初診時の平均は 33.3 歳（SD18.7）であり、入院歴がある者の精神科通算入院期間は平均 19.9 ヶ月（SD1.0）であった。発病前の最長の就業年数は平均 7.5 年（SD9.8）、発病後の最長の就業年数は平均 2.0 年（SD4.4）であった。生活臨床でいう生活類型は、受動型が 53.5%であった。自殺企図、他者への暴力行為、性的逸脱行為、問題飲酒は、なしが多数を占めていた。LASMI の得点は、2 点以上である場合、何等かの援助を必要とする目安となるが、持続性・安定性以外は全て平均が 2 点未満であった。

◆調査 B（新規利用者調査）：施設票・基本情報

49 施設の基本情報の結果を調査 B-表 1～表 4 に示す。医療施設区分は、無床診療所 91.8%、精神保健福祉センター 6.1%、有床診療所 2.0%であった。医療観察法の指定通院医療機関は 16.3%であった。同一法人または関連法人が運営する施設・事業所は、障害福祉サービス事業所が 32.7%と最も多かった。

◆調査 B（新規利用者調査）：施設票・単位情報

単位情報の結果を調査 B-5～表 10 に示

す。単位数は平均 1.1 単位（SD0.3）であり、届け出区分や職員数は調査 A とほぼ同様の施設であった。医師を除く職員加配数は平均 4.3 人（SD4.6）であり、調査 A より多い傾向が見られた。

平成 28 年 11 月 1 ヶ月の利用者については、3 年超利用者が 32.1%と多く、利用 1 年以下の早期加算対象者が 39.5%であり、調査 A より早期加算対象者の割合が多い施設であった。平成 28 年 9 月から 11 月の 3 ヶ月間の利用者の転帰は、終了して復職、就労、就労施設等へ移った人数は平均 4.1 人

（SD4.4）、中止または脱落した人数は平均 4.8 人（SD10.3）であり、調査 A より多い傾向がみられた。

◆調査 B（新規利用者調査）：施設票・グループ情報

グループ情報の結果を調査 B 表 11～表 22 に示す。各施設で有するグループ数は平均 1.9（SD1.5）であった。グループの目的分類は、混在型が 35.6%と最も多く、復職支援 23.0%、就労・就学支援が 6.9%であり、調査 A と割合に違いが見られた。定員の平均が最も多かったのは、青年期の 57.0 人（SD19.2）、次いでひきこもり・孤立支援が 55.5 人（SD64.3）であった。平成 28 年 11 月 1 か月間の各グループの実施日数は平均 15.3 日（SD7.3）、平均実施時間は 99.1 時間（SD61.0）であった。

最も重要と思われる医師の役割については、利用者の医学的状態の評価が最も多く（77.6%）、次に重要と思われる医師の役割はスタッフに対する指導助言（35.4%）であり、調査 A と同様の傾向が見られた。医師やスタッフが実施する支援については、スタッフ会議が 97.7%と最も多く、月平均 7.2 回、各回の実施時間は平均 60.5 分であった。外来を除く家族に対する支援は、64.4%が実施しており、その内容は病気の理解や対応の仕方などに関する悩み相談が 53.7%と最

も多かった。

グループの目標は、複数回答で対人関係の改善が 95.3%と最も多く、基本的な生活習慣の習得が 82.4%、作業能力・持続性の向上が 81.2%と続いた。また 1 週間で、グループ内で行われるプログラム数は平均 9.7(SD5.6)であり、実施時間は 1,434.0 分 (SD1,061.4)であった。調査 A と比較して、プログラム数が多く、時間も長い傾向が見られた。

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・基本情報

同意を得て追跡調査を実施した 184 人の基本情報を調査 B 表 23～表 28 に示す。性別は男性が 73.4%と多く、平均年齢は 39.1 歳 (SD14.5)であった。調査 A と比較して、男性の割合が多く、平均年齢が若い傾向が見られた。現在の居場所は、自宅、賃貸住宅 (家族と同居) が 67.8%と最も多く、夫婦と未婚の子のみの世帯が 31.1%と最も多く、調査 A と世帯構造の違いが見られた。調査組入れ時の就労状況は、休職中が 43.5%と最も多く、次いで失職 (就労経験あり、就業不可) が 17.4%、失職 (就労経験あり、就業可) が 15.2%であり、調査 A の対象者と異なり、休職中の利用者の割合が多かった。心神喪失者等医療観察法医療の対象者は 1.2%と調査 A 同様にわずかであった。

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・疾患情報等

疾患情報等を調査 B 表 29～表 37 に示す。主傷病は気分 (感情) 障害 (F3) が 44.8%と最も多く、神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4) が 19.1%、統合失調症 (F2) 18.0%と続いた。その他の精神疾患の傷病は、なしが 75.4%と最も多かった。身体合併症は、高血圧症と糖尿病が共に 20.0%であり、消化器疾患は 18.3%であった。

精神疾患の治療開始日からデイ・ケア等の開始日までの日数は、平均 2,759.7 日

(SD3,261.7) と 7 年を超え、入院歴がある利用者は 31.0%であった。入院歴がある利用者の入院回数は、平均 2.8 回 (SD4.1) であり、1 年以上の入院は 3.6%であった。入院歴がある者の入院中のデイ・ケア等の実施は 5.4%であった。直近の入院の主たる理由は、精神症状が強いため 60.0%、自傷行為・自殺企図の危険性が高い、自分の希望で入院がともに 8.0%であった。調査 A 利用者と疾患の割合の違いや病歴の違いが見られた。

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・精神科デイ・ケア等の実施情報

患者票に基づくデイ・ケア等の実施情報を調査 B 表 38～表 46 に示す。当該患者が利用しているグループの目的分類は、復職支援が 73 人 (40.3%) と最も多く、混在型 72 人 (39.8%)、ひきこもり・孤立支援 7 人 (3.9%) と続いた。利用区分は精神科デイ・ケアが 56.5%と最も多く、利用開始月最終週のデイ・ケア等の利用時間合計は平均 12.8 時間 (SD11.3) であった。

患者への意向確認の頻度は、週に 1 回程度が 34.7%と最も多く、その他 25.0%、月に 1 回程度 21.6%と続いた。終了とするための目標項目は、症状の回復が 28.1%と最も多く、対人関係能力 24.2%、その他 18.0%と続いた。また主治医は自院が 65.4%であり、精神科医によるデイケア診療以外の精神療法などのタイミングは、デイ・ケア等とは別の日に診療が 59.6%と最も多かった。

デイ・ケア等を実施する主な目的は、2 つまでの選択で症状や再発のサインへの対処スキルの獲得が 50.5%と最も多く、次いで復職支援 47.3%、就学・就労支援 22.5%と続いた。同時間帯にいくつかのプログラムを設けている場合、どのように選択・決定するかについては、あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に本人がその都度決定が 33.0%と多く、次いでプログラムは 1 種類の

みであるが 27.5%であった。

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・精神科デイ・ケア等と併用している各種サービス等

併用している各種サービス等の情報を調査 B 表 47～表 53 に示す。診療やサービスについては、薬物療法が 95.3%と最も多く、次いで精神療法等の精神科専門療法が 43.2%であった。精神障害者福祉手帳は 79.2%は持っておらず、2 級取得者は 11.3%であった。障害支援区分は、申請なしが 57.1%と最も多く、該当者はわずかであった。要介護区分も申請なしが 65.2%であり、該当者はわずかであった。障害福祉サービスの利用者は少なく、最も多かったのは計画相談支援 3.8%であった。介護保険サービスも利用者はわずかであった。経済的支援サービスは、自立支援医療（精神通院医療）が 95.2%と大多数が利用しており、次いで傷病手当金 22.6%、障害者年金と生活保護が共に 10.7%と続いた。

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・LASMI フェイスシート

LASMI のフェイスシートの結果を調査 B 表 54～表 63 に示す。精神科初診時の平均は 31.4 歳 (SD12.9) であり、入院歴がある者の精神科通算入院期間は平均 4.6 ヶ月 (SD5.5) であった。発病前の最長の就業年数は平均 8.7 年 (SD9.9)、発病後の最長の就業年数は平均 2.6 年 (SD4.9) であった。生活臨床でいう生活類型は、受動型が 41.3%であった。自殺企図、他者への暴力行為、性的逸脱行為、問題飲酒はなしが多数を占めていた。

◆調査 B (新規利用者調査) : 回収率・転帰

調査 A 対象施設より調査 B への協力を得た 49 施設 184 人の同意を得て実施した。組入れ時を含め、半年ごとに 18 ヶ月まで計 4 回

の追跡調査を実施した。途中、終了や中止・脱落に至った利用者は、そこで追跡終了とした。

各調査時の回収率および転帰を調査 B-表 64 に示す。回収率は 6 か月後 100.0% (184/184)、12 ヶ月後 100.0% (133/133)、18 ヶ月後 94.8% (73/77) であった。各調査時の転帰は、6 ヶ月時点では 66.3%が利用を継続、19.0%が終了、8.7%が中止・脱落に至っていた。12 ヶ月時点の追跡対象者 133 人においては、49.6%が利用を継続、28.6%が終了、13.5%が中止・脱落に至っていた。18 ヶ月時点の追跡対象者 77 人においては、63.6%が利用を継続、10.4%が終了、7.8%が中止・脱落に至っていた。終了や中止・脱落等、利用の転帰は 12 ヶ月までに多く見られ、18 ヶ月時点では少なくなっていた。

各調査時の転帰内訳を、調査 B-表 65 に示す。6 ヶ月後の終了者は、復職（自営を含む）が 12.5%と最も多く、中止・脱落者は入院（精神疾患）が 2.7%と最も多かった。12 ヶ月後の終了者は、復職（自営を含む）が 17.3%と最も多く、中止・脱落者は病状悪化（精神疾患）と通所拒否（一定期間通所なし等）が共に 3.0%と最も多かった。18 ヶ月後の終了者は、復職（自営を含む）が 3.9%と最も多く、中止・脱落者は病状悪化（精神疾患）が 3.9%と最も多かった。

18 ヶ月間の追跡調査の最終転帰を調査 B-表 66 に示す。最終的に転帰を確認できたのは、92.4% (170/184) であった。最終転帰は、18 ヶ月時点も利用継続中は 26.6%、18 ヶ月以内に終了した者は 44.0%、中止・脱落した者は 21.7%であった。転帰の内訳では、復職（自営を含む）による終了と利用継続がそれぞれ 26.6%と最も多く、就労（自営を含む）による終了 7.1%、病状悪化（精神疾患）による中止・脱落 4.9%と続いた。

◆調査 B (新規利用者調査) : 各種スコア

LASMI の結果を調査 B-表 67 に示す。何

等かの援助を必要とする目安である 2 点以上である項目は、持続性・安定性以外は全て平均が 2 点未満であった。全体としては組入れ時から 6 ヶ月後、12 ヶ月後と利用期間が進むにつれ、スコアは軽減する傾向が見られたが、18 ヶ月後には組入れ時を上回るスコアになっていた。転帰別に注目すると、継続者は 12 ヶ月未満までは評価に大きな変化は見られなかったが、18 ヶ月後時点で継続している利用者についての評価は悪化の傾向が見られた。

終了者はスコアは低く、症状の評価が軽快する傾向が見られたが、中でも 6 ヶ月以内の早期に終了した者が一番評価が良好であった。中止・脱落者は、いずれの時点においても組入れ時より評価が悪化していた。

地域在住精神障害者における地域生活環境の主観評価である CIM の結果を、調査 B-表 68 に示す。高得点であるほど地域社会共生感が高いことを示している。全体としては調査を通して大きな変化は見られなかった。転帰別に注目すると、12 ヶ月以内の中止・中断者は地域社会共生感が低い傾向が見られた。

患者満足度調査である CSQ の結果を調査 B-表 69 に示す。各調査時の終了者に実施したが、18 ヶ月後の最終調査時のみ、利用継続者にも実施した。スコアは最低 8 点、最高 32 点であり、24 点がおおよそ満足していることを意味する。すべての時点において、高い満足感が得られていた。

D. 考察

調査 A (基礎調査)

診療所におけるデイ・ケア等の利用状況は、1 年超利用者は 69.9%であり、3 年超利用者は 42.9%と長期利用者が大部分を占めていた。平成 28 年 9~11 月の各単位での転帰は、終了者および中止・脱落者ともに 3 ヶ月間で平均 3 人弱程度であり、転帰からも各単位で利用者の利用状況の動きが少なく、長期

利用の傾向を確認することができた。

本調査では、デイ・ケア等の機能分化を明らかにすることを目的として、グループの目的分類を実施した。疾患、目的、年代などからの分類を試みたが、実施の現状は、様々な利用目的の利用者が混在するデイ・ケア等が多数を占めていた。一方で、同じ目的を持った患者の集団で実施するデイ・ケア等も、一定の割合で確認できた。特に、復職支援、就労・就学支援、再就労支援といった社会機能回復に特化したデイ・ケア等は、病院よりも症状の軽い患者が多い診療所の特徴の一つであると言えるだろう。

調査 B (新規利用者調査)

調査 B の新規利用者調査は、調査 A の基礎調査をベースに実施した。対象施設は、調査 A の対象施設より、利用 1 年以内の早期加算対象者が多く、比較的短期に利用が終了している施設が多かった。また終了者や中止・脱落者も調査 A より多かったことから、利用者の出入りの頻度が高い施設が対象となったと言える。また、組入れ期間が 2 ヶ月間と短かったことから、毎月一定の割合で新規利用者の受け入れのある施設から、より対象者を得やすかったとも言えよう。利用者は調査 A より軽症であり、気分障害や不安障害が多数を占めていた。対象者が利用したデイ・ケア等のグループの目的分類は、復職支援が 40.3%を占め、調査 A とは異なった背景の対象者、および利用グループであったと言える。

18 ヶ月間の追跡調査の結果、44.0%の利用終了が確認できた。12 ヶ月時点では、39.7%が終了に至っており、調査 B-表 9 における早期加算対象者の割合 (39.5%) とほぼ同様の結果であった。終了者の内訳でとりわけ顕著であったのは、復職支援を中心に、社会機能の回復による利用の終了であった。終了・中止・脱落等の転帰は、いずれも 12 ヶ月までの間で多く発生し、12 ヶ月を超えると利

用継続が多く、何等かの転帰の発生は低割合であった。

新規利用者を対象とした調査 B では、早期の終了者の割合が多かった。その良好な転帰が見られた背景には、対象者は気分障害が多く、軽症であるところが大きいと思われるが、医師を除く職員加配数は、むしろ調査 A より多く、手厚い支援が行われていることが示唆された。

2つの調査を通して、デイ・ケア等は疾患や利用の目的によりその機能分化が進んでいることが示唆された。とりわけ短期間に利用の終了が確認できた、復職や就労など社会機能の回復を目的としたデイ・ケア等については、従来のデイ・ケア等とは異なる固有の機能を有していると思われた。一方で、重症患者を中心に生活機能維持を目的としたデイ・ケア等もその必要性は高い。デイ・ケア等の機能の分化を更に明確に検討するためには、疾患、重症度はもとより、どのような機能回復を目的とし、どのような支援が実施されているかを明らかにすることが必要である。またその転帰と総合し、今後のデイ・ケア等の在り方を検討することが課題である。

E. 健康危険情報

なし

F. 研究発表

1.論文発表

- 1) 五十嵐良雄, 大木洋子. 調査報告. 2018. デイケア実践研究. 22(1). P60-68.
- 2) 松原良次. 精神科病院の立場からみたデイケア機能の今後. 2018. デイケア実践研究. 22(1). P69-72.

2.学会発表

- 1) 五十嵐良雄「大規模デイケア調査に関する中間結果報告」日本デイケア学会シンポジウム（口頭）2017.10, 秋田
- 2) 原敬造「精神科診療所の立場からみたデ

イケア機能の今後」日本デイケア学会シンポジウム（口頭）2017.10, 秋田

- 3) 松原良次「精神科病院の立場からみたデイケア機能の今後」日本デイケア学会シンポジウム（口頭）2017.10, 秋田
- 4) 藤井千代「障害者対策総合研究主任研究者からのデイケア機能に関する意見」日本デイケア学会シンポジウム（口頭）2017.10, 秋田
- 5) 五十嵐良雄「地域で暮らすための資源としての精神科デイケア」日本精神神経学会学術総会シンポジウム（口頭）2018.06, 兵庫
- 6) 五十嵐良雄「デイケア大規模調査から見えてきたもの」日本デイケア学会シンポジウム（口頭）2018.10, 千葉
- 7) 五十嵐良雄「大規模デイケア調査からみた将来のデイケア」日本デイケア学会シンポジウム（口頭）2018.10, 千葉

G. 知的財産権の出願・登録状況

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし

文献

- 1) 岩崎晋也、宮内勝、大島巖、他：精神障害者社会生活評価尺度(LASMI)の開発信頼性の検討（第1報）.精神医学 36:1139-1151、1994.
- 2) McColl MA, Davies D, Carlson P, Johnston J, Minnes P: The community integration measure: development and preliminary validation. Arch Phys Med Rehabil. 82(4), 429-434,2001.
- 3) McColl MA, Carlson P, Johnston J, Minnes P, Shue K, Davies D, Karlovits

T. : The definition of community
integration: perspectives of people
with brain injuries. *Brain Inj*, 12(1),
15-30, 1998

- 4) 立森久照、伊藤弘人: 日本語版 Client
Satisfaction Questionnaire 8 項目版の
信頼性及び妥当性の検討. *精神医学*
41:711-717, 1999.

◆調査 A（基礎調査）：施設票・基本情報（設問 1）

調査A-表1 医療施設区分

	回答施設数	割合(%)
有床診療所	4	1.3
無床診療所	296	94.0
精神保健福祉センター	15	4.8
計	315	100.0

調査A-表2 医療観察法の指定通院医療機関

	回答施設数	割合(%)
はい	35	11.1
いいえ	228	72.4
無回答	52	16.5
計	315	100.0

調査A-表3 同一法人または関連法人が運営する施設・事業所（複数回答）

	回答施設数	割合(%)
該当なし	167	53.0
介護老人保健施設	38	12.1
介護老人福祉施設	17	5.4
訪問看護ステーション	58	18.4
居宅介護支援事業所	50	15.9
地域包括支援センター	20	6.3
訪問介護事業所	22	7.0
小規模多機能型居宅介護事業所	12	3.8
通所介護事業所	29	9.2
介護療養型医療施設	8	2.5
障害福祉サービス事業所	62	19.7
その他	27	8.6
無回答	10	3.2
計	315	

調査A-表4 地域住民との交流（複数回答）

	回答施設数	割合(%)
定期開催しているものはなし	228	72.4
病院が主体となり定期開催	32	10.2
デイケアが主体となり定期開催	29	9.2
無回答	28	8.9
計	315	

◆調査 A (基礎調査) : 施設票・単位情報 (設問 2~6)

調査A-表5 精神科デイケア等の届出単位数

有効回答施設数 : 315

単位数合計	331
平均	1.1
SD	0.3

調査A-表6 届出区分とその概要

有効回答単位 : 331

	単位数		定員		面積	
	合計	割合(%)	平均	SD	平均	SD
ショートケア 小規模	131	39.6	17.7	3.7	107.3	89.8
大規模	108	32.6	44.8	16.3	246.7	179.5
デイケア 小規模	110	33.2	24.5	6.5	111.1	72.6
大規模	166	50.2	45.8	15.0	255.5	227.4
ナイトケア	53	16.0	19.3	1.9	215.6	175.3
デイナイトケア	73	22.1	41.7	18.8	230.6	172.2

調査A-表7 登録している職員数 (実人数)

有効回答単位 : 330

	専従		専任	
	平均	SD	平均	SD
医師	0.2	0.5	1.8	2.3
看護師・准看護師	1.7	1.5	0.7	1.4
作業療法士	0.6	0.8	0.1	0.4
精神保健福祉士	1.3	1.6	0.5	1.0
社会福祉士	0.0	0.1	0.0	0.1
臨床心理技術者	0.8	1.3	0.7	1.4
看護補助者	0.2	0.6	0.1	0.5
その他	0.2	0.9	0.1	0.5
1単位の職員数合計	4.9	4.2	4.0	4.1

調査A-表8 医師を除く、各単位における職員加配数

有効回答単位 : 330

平均	3.4
SD	3.5

調査A-表9 平成28年11月 1ヶ月間の利用者 有効回答単位 : 265

	患者数	対実利用者 割合(%)
	合計	
11月の登録者	18,289	
うち、実利用者	13,528	100.0
うち、早期加算対象者	4,069	30.1
うち、新規利用者	790	5.8
うち、1年超利用者	9,459	69.9
うち、1年超3年以下	3,654	27.0
うち、3年超利用者	5,805	42.9

調査A-表10 平成28年9月~11月の3ヶ月間の利用者の転帰

	回答単位数	合計	平均	SD
終了して復職、就労、就労施設等へ移った人数	303	849	2.8	5.2
中止または脱落した人数	296	849	2.6	5.5

◆調査 A (基礎調査) : 施設票・グループ情報 (設問 7~12)

調査A-表11 グループの種類

有効回答施設数 : 302

GP数合計	486
平均	1.6
SD	1.4

調査A-表12 目的分類

有効回答GP数 : 468

		グループ数	割合(%)
疾患別	物質依存	11	2.4
	摂食障害	0	0.0
	発達障害	19	4.1
	パーソナリティ障害	1	0.2
	統合失調症	11	2.4
	気分・不安障害	8	1.7
	目的別	生活機能維持	54
病状悪化予防		21	4.5
就労・就学支援		31	6.6
復職支援		87	18.6
再就労支援		8	1.7
ひきこもり・孤立支援		10	2.1
混在型		154	32.9
年代別	児童・思春期	10	2.1
	青年期	10	2.1
	高齢者	13	2.8
その他		20	4.3
計		468	100.0

調査A-表13 目的分類別定員

有効回答GP数 : 438

		有効GP数	定員合計	%	定員平均	SD
疾患別	物質依存	11	295	2.5	26.8	18.2
	摂食障害	0	-	-	-	-
	発達障害	16	249	2.1	15.6	16.5
	パーソナリティ障害	1	5	0.0	5.0	-
	統合失調症	11	323	2.7	29.4	16.3
	気分・不安障害	8	151	1.3	18.9	8.1
	目的別	生活機能維持	51	1,498	12.4	29.4
病状悪化予防		20	321	2.7	16.1	12.2
就労・就学支援		28	556	4.6	19.9	15.6
復職支援		83	2,263	18.8	27.3	18.2
再就労支援		7	217	1.8	31.0	29.3
ひきこもり・孤立支援		9	189	1.6	21.0	30.4
混在型		143	4,892	40.6	34.2	16.5
年代別	児童・思春期	10	174	1.4	17.4	16.9
	青年期	9	259	2.2	28.8	27.1
	高齢者	12	308	2.6	25.6	18.9
その他		19	373	3.1	19.6	16.1
計		438	12,073			

調査A-表14 平成28年11月1ヶ月の実施日数

有効回答GP数 : 467

平均	15.3
SD	7.8

調査A-表15 平成28年11月1ヶ月の実施時間

有効回答GP数 : 460

平均	90.8
SD	62.7

調査A-表16 最も重要と思われる医師の役割 有効回答GP数：466

	回答GP数	%
利用者の医学的状態の評価	326	70.0
薬物療法に関するコーディネーター	9	1.9
デイケアのチームリーダー	2	0.4
デイケア計画・立案における責任者	6	1.3
デイケア実施における責任者	82	17.6
ケース会議等に参加	17	3.6
スタッフに対する指導助言	23	4.9
その他	1	0.2

調査A-表17 次に重要と思われる医師の役割 有効回答GP数：437

	回答GP数	%
利用者の医学的状態の評価	44	10.1
薬物療法に関するコーディネーター	107	24.5
デイケアのチームリーダー	2	0.5
デイケア計画・立案における責任者	27	6.2
デイケア実施における責任者	72	16.5
ケース会議等に参加	28	6.4
スタッフに対する指導助言	156	35.7
その他	1	0.2

調査A-表18 医師やスタッフが実施する支援

有効回答GP数：486

	実施GP数	実施割合	実施回数 /月	実施時間 分/回
スタッフ会議	445	91.6	7.5	51.3
他機関の関係者を交えたケア会議	314	64.6	1.0	37.3
利用者本人を加えたケア会議(SDM)	297	61.1	1.4	29.7
精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問支援（自宅・職場・その他）	312	64.2	3.3	32.2
精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	290	59.7	1.4	42.4

調査A-表19 GPの目標（複数回答） 有効回答GP数：474

	回答数	%
基本的な生活習慣の習得	387	81.6
身体機能維持・向上	311	65.6
対人関係の改善	427	90.1
作業能力・持続性の向上	327	69.0
病識を身に付ける	309	65.2
社会資源の利用	264	55.7
その他	113	23.8

調査A-表20 GP（外来は除く）における家族に対する支援

有効回答GP数：481

	回答数	%
家族に対する支援を実施	312	64.9
家族に対する支援なし	169	35.1

調査A-表21 GP（外来は除く）における家族に対する支援（複数回答）

有効回答GP数：295

	回答数	%
悩み相談（病気の理解や対応の仕方など）	213	72.2
家族教室	62	21.0
家族会	67	22.7
その他	65	22.0

調査A-表22 GP内のプログラム数と1週間の実施時間

有効回答GP数：466

	平均	SD
GP内プログラム数	5.6	5.3
1週間の実施時間（分）	1,313.4	1,091.8

◆調査 A（基礎調査）：患者票・基本情報（設問 1）

調査A-表23 性別

（有効回答：6138）

	n	%
男性	3801	61.9
女性	2337	38.1

調査A-表24 年齢（H28年12月15日現在）

（有効回答：6166）

平均	46.6歳
SD	15.3

調査A-表25 現在の居場所

（有効回答：6146）

	n	%
自宅、賃貸住宅（家族と同居）	3558	57.9
自宅、賃貸住宅（1人暮らし）	2003	32.6
有料老人ホーム・軽費老人ホーム・サ高住	115	1.9
障害者グループホーム	332	5.4
障害者自立訓練施設	44	0.7
その他	94	1.5

調査A-表26 世帯構造

（有効回答：6158）

	n	%
単独世帯	2555	41.5
夫婦のみの世帯	449	7.3
夫婦と未婚の子のみの世帯	1663	27.0
ひとり親と未婚の子のみの世帯	646	10.5
三世帯世帯	240	3.9
その他の世帯	605	9.8

調査A-表27 現在の就労状況 (有効回答: 6116)

	n	%
無職 (就労経験なし)	832	13.6
失職 (就労経験あり、就業可)	1003	16.4
失職 (就労経験あり、就業不可)	2226	36.4
定年退職	207	3.4
休職中	1115	18.2
正規雇用	68	1.1
パート	106	1.7
アルバイト	92	1.5
専業主婦	147	2.4
学生	76	1.2
その他	244	4.0

調査A-表28 心神喪失者等医療観察法医療

(有効回答: 5507)

	n	%
対象者	21	0.4
非対象者	5450	99.0
過去において対象者であった	36	0.7

◆調査 A (基礎調査) : 患者票・疾患情報等 (設問 2~3)

調査A-表29 主傷病

(有効回答: 6191)

	n	%
認知症 (他の精神疾患によるものは除く) (F00-03)	160	2.6
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	116	1.9
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	324	5.2
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	25	0.4
統合失調症 (F20)	2365	38.2
その他の精神病性障害 (F21-29)	128	2.1
気分 (感情) 障害 (F3)	2059	33.3
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	428	6.9
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	4	0.1
成人の人格・行動の障害 (F6)	46	0.7
知的障害 (精神遅滞) (F7)	126	2.0
心理的発達の障害 (F8)	306	4.9
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	58	0.9
詳細不明の精神障害 (F99)	4	0.1
てんかん (G40)	42	0.7

調査A-表30 その他の精神疾患の傷病

(有効回答: 6151)

	n	%
なし	4447	72.3
認知症（他の精神疾患によるものは除く）(F00-03)	66	1.1
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	61	1.0
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	82	1.3
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	22	0.4
統合失調症 (F20)	94	1.5
その他の精神病性障害 (F21-29)	61	1.0
気分（感情）障害 (F3)	358	5.8
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	251	4.1
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	23	0.4
成人の人格・行動の障害 (F6)	53	0.9
知的障害（精神遅滞）(F7)	242	3.9
心理的発達の障害 (F8)	222	3.6
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	57	0.9
詳細不明の精神障害 (F99)	4	0.1
てんかん (G40)	108	1.8

調査A-表31 身体合併症（複数回答）

(有効回答: 2111)

	n	%
高血圧症	598	28.3
糖尿病	468	22.2
脂質異常症	362	17.1
循環器疾患	217	10.3
腎疾患	66	3.1
呼吸器疾患	178	8.4
消化器疾患	457	21.6
内分泌疾患	84	4.0
筋骨格系疾患	265	12.6
泌尿器疾患	122	5.8
その他	384	18.2

調査A-表32 精神疾患の治療開始日から調査日 (H28.12.15)までの日数

(有効回答: 5980)

平均	4812.6日
SD	4177.5

調査A-表33 これまでの精神科での入院歴

(有効回答: 6175)

	n	%
あり	2897	46.9
なし	3278	53.1

調査A-表34 精神科での入院歴がある場合の入院回数

(有効回答: 2795)

平均	3.2回
SD	3.6

調査A-表35 精神科での入院歴がある場合、1年以上の入院の有無

(有効回答: 2826)

	n	%
あり	747	26.4
なし	2079	73.6

調査A-表36 精神科での入院歴がある場合、入院中の精神科デイ・ケア等の実施

(有効回答: 2620)

	n	%
実施した	378	14.4
実施しない	2242	85.6

調査A-表37 精神科での入院歴がある場合、直近の入院の主たる理由

(有効回答: 2677)

	n	%
精神症状が強いため	1791	66.9
病識がないため	46	1.7
セルフケアに著しい問題があるため	52	1.9
迷惑行為・他害行為の危険性が高いため	180	6.7
自傷行為・自殺企図の危険性が高いため	186	6.9
治療・服薬への抵抗が強いため	20	0.7
身体合併症の治療のため	45	1.7
自分の希望で入院	145	5.4
家族が入院を希望するため	49	1.8
食事や衛生管理ができないため	15	0.6
その他	148	5.5

◆調査 A (基礎調査) : 患者票・精神科デイ・ケア等の実施情報 (設問 4)

調査A-表38 当該患者が利用しているGPの目的分類

(有効回答: 5759)

		n	%
疾患別	物質依存	166	2.9
	摂食障害	0	0.0
	発達障害	58	1.0
	パーソナリティ障害	0	0.0
	統合失調症	120	2.1
	気分・不安障害	82	1.4
目的別	生活機能維持	803	13.9
	病状悪化予防	115	2.0
	就労・就学支援	167	2.9
	復職支援	1079	18.7
	再就労支援	41	0.7
	ひきこもり・孤立支援	80	1.4
	混在型	2688	46.7
年代別	児童・思春期	18	0.3
	青年期	59	1.0
	高齢者	145	2.5
その他	138	2.4	
合計	5759	100.0	

調査A-表39 平成28年11月末日現在、

利用開始から1年を超えているか

(有効回答:6192)

	n	%
超えていない	1990	32.1
超えている	4202	67.8

調査A-表40 利用開始から1年を超えている場合、その主たる理由

(有効回答:4100)

	n	%
症状が重度	376	9.2
症状が不安定	1413	34.5
参加が不規則	181	4.4
行先がない	241	5.9
本人の希望	1369	33.4
家族の依頼	105	2.6
見通しが立たない	285	7.0
その他	130	3.2

調査A-表41 平成28年11月に利用した精神科デイ・ケア等（複数回答）

（有効回答: 6062）

	n	%
精神科ショート・ケア	1906	31.4
精神科デイ・ケア	4998	82.4
精神科デイ・ナイト・ケア	1064	17.6
精神科ナイト・ケア	313	5.2

調査A-表42 平成28年11月27日～12月3日の7日間の利用時間

（有効回答: 6091）

平均	19.9時間
SD	13.0

調査A-表43 精神科デイ・ケア等に関する患者の意向確認の頻度

（有効回答: 6149）

	n	%
週に1回程度	756	12.3
月に2回程度（2週に1回程度）	662	10.8
月に1回程度	1641	26.7
2ヶ月に1回程度	701	11.4
意向を確認していない	269	4.4
その他	2120	34.5

調査A-表44 精神科デイ・ケア等を終了とするための目標項目

（有効回答: 6077）

	n	%
症状の回復	1784	29.4
意欲の回復	567	9.3
病識	119	2.0
対人関係能力	958	15.8
生活維持能力	1162	19.1
業務遂行能力	492	8.1
服薬の遵守	43	0.7
薬物等の中止	7	0.1
その他	945	15.6

調査A-表45 現在の主治医（有効回答: 6045）

	n	%
自院に主治医がいる	4713	78.0
他院に主治医がいる	1332	22.0

調査A-表46 精神科医によるデイケア診察以外の精神療法などのタイミング

（有効回答: 6107）

	n	%
精神科デイ・ケア等の実施日に診療	3335	54.6
精神科デイ・ケア等の実施日とは別の日に診療	1932	31.6
精神科デイ・ケア等の実施日と実施日以外の両方で診療	718	11.8
その他	122	2.0

調査A-表47 精神科デイ・ケア等を実施する主な目的（2つまで選択）

（有効回答: 6167）

	n	%
家事等、日常生活技能の習得	939	15.2
症状や再発のサインへの対処スキルの獲得	2918	47.3
疾病と治療についての理解	1180	19.1
復職支援	1344	21.8
服薬アドヒアランスの向上	160	2.6
レクリエーションのため	618	10.0
自己存在感を培う場所確保のため	1852	30.0
友人作りのため	504	8.2
就学・就労支援	1181	19.2
その他	396	6.4

調査A-表48 同時間帯にいくつかのプログラムを設けている場合、どのように選択・決定しますか

（有効回答: 6162）

	n	%
プログラムは1種類のみである	1874	30.4
あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に本人がその都度決定	2612	42.4
あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に、専門職が本人の意向を踏まえてその都度決定	366	5.9
あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に専門職がその都度決定	52	0.8
1ヶ月単位・1週間単位などで、本人が決定	236	3.8
1ヶ月単位・1週間単位などで、専門職が本人の意向を踏まえてその都度決定	728	11.8
1ヶ月単位・1週間単位などで、専門職が決定	119	1.9
その他	175	2.8

◆調査 A（基礎調査）：患者票・精神科デイ・ケア等と併用している各種サービス等（設問 5～6）

調査A-表49 精神科デイケア等以外に利用している診療やサービス

（複数回答）

（有効回答: 5798）

	n	%
薬物療法	5666	94.8
精神療法等の精神科専門療法	3073	51.4
訪問看護（訪問看護ステーション）	370	6.2
訪問看護	679	11.4
障害福祉サービス	834	14.0
介護保険サービス	252	4.2

調査A-表50 精神障害者福祉手帳

（有効回答: 5518）

	n	%
手帳をもっていない	2825	51.2
1級	202	3.7
2級	1999	36.2
3級	492	8.9

調査A-表51 障害支援区分

(有効回答: 6202)

	n	%
把握していない	1925	31.0
申請なし	3604	58.1
非該当	334	5.4
区分1	24	0.4
区分2	140	2.3
区分3	136	2.2
区分4	32	0.5
区分5	6	0.1
区分6	1	0.0

調査A-表52 要介護区分

(有効回答: 6202)

	n	%
把握していない	721	11.6
申請なし	4105	66.2
非該当	1049	16.9
要支援1	48	0.8
要支援2	38	0.6
要介護1	95	1.5
要介護2	78	1.3
要介護3	45	0.7
要介護4	18	0.3
要介護5	5	0.1

調査A-表53 障害福祉サービス (複数選択)

(有効回答: 6197)

	n	%
把握していない	742	12.0
ない	4149	67.0
居宅介護	259	4.2
重度訪問介護	4	0.1
同行援護	31	0.5
行動援護	12	0.2
療養介護	0	0.0
生活介護	81	1.3
短期入所	30	0.5
重度障害者等包括支援	1	0.0
共同生活援助	241	3.9
施設入所支援	35	0.6
自立支援 (技能訓練)	3	0.0
自立支援 (生活訓練)	52	0.8
就労移行支援	95	1.5
就労継続支援A型	57	0.9
就労継続支援B型	444	7.2
計画相談支援	444	7.2
地域相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)	45	0.7
基本相談支援	62	1.0
地域生活支援事業	120	1.9
その他	39	0.6

調査A-表54 介護保険サービス（複数回答）

（有効回答：6140）

	n	%
把握していない	586	9.5
ない	5197	84.6
訪問介護	187	3.0
訪問看護	58	0.9
訪問リハビリテーション	6	0.1
通所介護	54	0.9
短期入所療養介護	7	0.1
短期入所生活介護	12	0.2
通所リハビリテーション	32	0.5
訪問入浴介護	8	0.1
夜間対応型訪問介護	2	0.0
福祉用具貸与	47	0.8
住宅改修	8	0.1
その他	43	0.7

調査A-表55 現在利用している経済的支援サービス（複数回答）

（有効回答：6082）

	n	%
自立支援医療（精神通院医療）	5822	95.7
自立支援医療（更生医療）	4	0.1
自立支援医療（育成医療）	2	0.0
身体障害者手帳	145	2.4
療育手帳（知的障害者）	181	3.0
生活保護	1379	22.7
ひとり親補助	8	0.1
重度心身障害者医療費助成制度	93	1.5
障害者年金	2030	33.4
労災保険	8	0.1
傷病手当金	634	10.4
民間保険	29	0.5
団体長期障害所得補償保険(GLTD)	6	0.1
自賠責保険	5	0.1
その他	167	2.7

◆調査 A（基礎調査）：患者票・LASMI（設問 7）

調査A-表56 精神科初診時の年齢

（有効回答：5973）

平均	33.3歳
SD	18.7

調査A-表57 精神科入院回数（経験なしは0）

（有効回答：6018）

平均	1.5回
SD	3.0

調査A-表58 精神科通算入院期間（入院ありの場合）
（有効回答: 2345）

平均	19.9ヶ月
SD	1.0

調査A-表59 発病前の最長の就業年数
（雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可）
（有効回答: 4433）

平均	7.5年
SD	9.8

調査A-表60 発病後の最長の就業年数
（雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可）
（有効回答: 4823）

平均	2.0年
SD	4.4

調査A-表61 生活臨床でいう生活類型型
（有効回答: 6202）

	n	%
能動型	1850	29.8
受動型	3316	53.5
未定・不明	1036	16.7

調査A-表62 自殺企図（自傷を含む）（有効回答: 6202）

	n	%
無し	4596	74.1
過去1ヶ月以内にあった	41	0.7
過去1ヶ月から1年以内にあった	186	3.0
過去1年以前にあった	767	12.4
不明	612	9.9

調査A-表63 他者への暴力行為（有効回答: 6202）

	n	%
無し	4981	80.3
過去1ヶ月以内にあった	48	0.8
過去1ヶ月から1年以内にあった	123	2.0
過去1年以前にあった	573	9.2
不明	477	7.7

調査A-表64 性的逸脱行為（露出・接触・性的強要）
（有効回答: 6202）

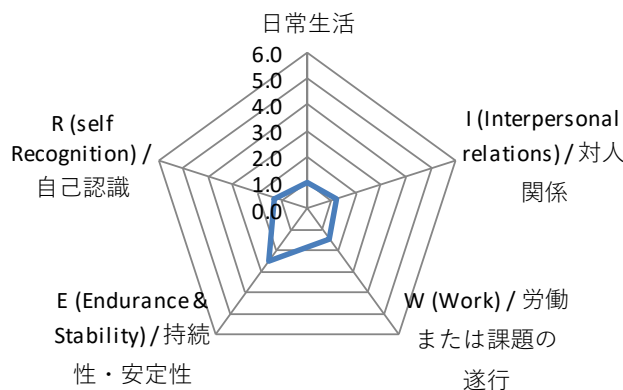
	n	%
無し	5472	88.2
過去1ヶ月以内にあった	25	0.4
過去1ヶ月から1年以内にあった	62	1.0
過去1年以前にあった	141	2.3
不明	502	8.1

調査A-表65 問題飲酒
（生活の破綻につながるような度を越した飲酒）
（有効回答: 6202）

	n	%
無し	5212	84.0
過去1ヶ月以内にあった	51	0.8
過去1ヶ月から1年以内にあった	129	2.1
過去1年以前にあった	395	6.4
不明	415	6.7

調査A-表66 LASMI 得点

	有効回答	平均	SD
D (Daily living) / 日常生活	6134	1.0	0.8
I (Interpersonal relations) / 対人関係	6129	1.2	0.8
W (Work) / 労働または課題の遂行	6120	1.4	0.9
E (Endurance & Stability) / 持続性・安定性	6122	2.5	1.1
R (self Recognition) / 自己認識	6124	1.3	0.9



調査A-図1 LASMI 得点
197

◆調査 B（新規利用者調査）：施設票・基本情報（設問 1）

調査B-表1 医療施設区分

	回答施設数	割合(%)
有床診療所	1	2.0
無床診療所	45	91.8
精神保健福祉センター	3	6.1
計	49	100.0

調査B-表2 医療観察法の指定通院医療機関

	回答施設数	割合(%)
はい	8	16.3
いいえ	33	67.3
無回答	8	16.3
計	49	100.0

調査B-表3 同一法人または関連法人が運営する施設・事業所（複数回答）

	回答施設数	割合(%)
該当なし	21	42.9
介護老人保健施設	9	18.4
介護老人福祉施設	3	6.1
訪問看護ステーション	8	16.3
居宅介護支援事業所	9	18.4
地域包括支援センター	6	12.2
訪問介護事業所	3	6.1
小規模多機能型居宅介護事業所	4	8.2
通所介護事業所	4	8.2
介護療養型医療施設	2	4.1
障害福祉サービス事業所	16	32.7
その他	4	8.2
無回答	2	4.1
計	49	100.0

調査B-表4 地域住民との交流（複数回答）

	回答施設数	割合(%)
定期開催しているものはなし	31	63.3
病院が主体となり定期開催	8	16.3
デイケアが主体となり定期開催	9	18.4
無回答	3	6.1
計	49	100.0

◆調査 B（新規利用者調査）：施設票・単位情報（設問 2～6）

調査B-表5 精神科デイケア等の届出単位数

有効回答施設数：49

単位数合計	54
平均	1.1
SD	0.3

調査B-表6 届出区分とその概要

有効回答単位：54

	単位数		定員		面積	
	合計	割合(%)	平均	SD	平均	SD
ショートケア 小規模	17	31.5	18.2	3.1	118.2	138.9
大規模	25	46.3	51.3	15.5	298.9	260.0
デイケア 小規模	11	20.4	24.7	6.6	84.2	25.6
大規模	35	64.8	50.5	13.4	316.1	281.3
ナイトケア	13	24.1	20.0	0.0	283.3	294.5
デйнаイトケア	19	35.2	49.4	18.8	303.8	259.9

調査B-表7 登録している職員数（実人数）

有効回答単位：54

	専従		専任	
	平均	SD	平均	SD
医師	0.1	0.3	2.4	3.1
看護師・准看護師	2.1	2.2	0.7	1.2
作業療法士	0.9	0.9	0.2	0.6
精神保健福祉士	1.6	2.0	0.5	1.1
社会福祉士	0.0	0.0	0.0	0.0
臨床心理技術者	1.2	1.8	0.8	1.4
看護補助者	0.2	0.8	0.0	0.2
その他	0.4	0.9	0.1	0.4
1単位の職員数合計	6.6	6.0	4.7	4.2

調査B-表8 医師を除く、各単位における職員加配数

有効回答単位：52

平均	4.3
SD	4.6

調査B-表9 平成28年11月1ヶ月間の利用者

有効回答単位：46

	患者数	対実利用者 割合(%)
	合計	
11月の登録者	4,115	
うち、実利用者	3,059	100.0
うち、早期加算対象者	1,207	39.5
うち、新規利用者	224	7.3
うち、1年超利用者	1,852	60.5
うち、1年超3年以下	870	28.4
うち、3年超利用者	982	32.1

調査B-表10 平成28年9月～11月の3ヶ月間の利用者の転帰

	回答単位数	合計	平均	SD
終了して復職、就労、就労施設等へ移った人数	51	211	4.1	4.4
中止または脱落した人数	51	243	4.8	10.3

◆調査 B（新規利用者調査）：施設票・グループ情報（設問 7～12）

調査B-表11 グループの種類

有効回答施設数：48

GP数合計	91
平均	1.9
SD	1.5

調査B-表12 目的分類

有効回答GP数：87

		グループ数	割合(%)
疾患別	物質依存	1	1.1
	摂食障害	0	0.0
	発達障害	4	4.6
	パーソナリティ障害	0	0.0
	統合失調症	1	1.1
	気分・不安障害	2	2.3
目的別	生活機能維持	5	5.7
	病状悪化予防	1	1.1
	就労・就学支援	6	6.9
	復職支援	20	23.0
	再就労支援	1	1.1
	ひきこもり・孤立支援	2	2.3
	混在型	31	35.6
年代別	児童・思春期	0	0.0
	青年期	4	4.6
	高齢者	3	3.4
その他		6	6.9
計		87	100.0

調査B-表13 目的分類別定員

有効回答GP数：81

		有効GP数	定員合計	%	定員平均	SD
疾患別	物質依存	1	35	1.2	-	-
	摂食障害	0	-	0.0	-	-
	発達障害	3	104	3.7	34.7	32.4
	パーソナリティ障害	0	5	0.2	-	-
	統合失調症	1	15	0.5	-	-
	気分・不安障害	2	25	0.9	12.5	3.5
目的別	生活機能維持	5	213	7.5	42.6	19.0
	病状悪化予防	1	7	0.2	-	-
	就労・就学支援	5	97	3.4	19.4	6.6
	復職支援	18	642	22.7	35.7	22.7
	再就労支援	1	15	0.5	-	-
	ひきこもり・孤立支援	2	111	3.9	55.5	64.3
	混在型	31	1,128	39.9	36.4	16.9
年代別	児童・思春期	0	-	0.0	-	-
	青年期	3	171	6.0	57.0	19.2
	高齢者	2	96	3.4	48.3	25.1
その他		6	166	5.9	24.0	5.7
計		81	2,830	100.0		

調査B-表14 平成28年11月1ヶ月の実施日数

有効回答GP数：84

平均	15.3
SD	7.3

調査B-表15 平成28年11月1ヶ月の実施時間

有効回答GP数：83

平均	99.1
SD	61.0

調査B-表16 最も重要と思われる医師の役割 有効回答GP数：85

	回答GP数	%
利用者の医学的状態の評価	66	77.6
薬物療法に関するコーディネーター	1	1.2
デイケアのチームリーダー	0	0.0
デイケア計画・立案における責任者	3	3.5
デイケア実施における責任者	14	16.5
ケース会議等に参加	0	0.0
スタッフに対する指導助言	1	1.2
その他	0	0.0

調査B-表17 次に重要と思われる医師の役割 有効回答GP数：79

	回答GP数	%
利用者の医学的状態の評価	9	11.4
薬物療法に関するコーディネーター	22	27.8
デイケアのチームリーダー	0	0.0
デイケア計画・立案における責任者	4	5.1
デイケア実施における責任者	11	13.9
ケース会議等に参加	4	5.1
スタッフに対する指導助言	28	35.4
その他	1	1.3

調査B-表18 医師やスタッフが実施する支援

有効回答GP数：86

	実施GP数	実施割合	実施回数 /月	実施時間 分/回
スタッフ会議	84	97.7	7.2	60.5
他機関の関係者を交えたケア会議	31	36.0	2.4	67.7
利用者本人を加えたケア会議(SDM)	32	37.2	2.6	51.3
精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問支援（自宅・職場・その他）	25	29.1	7.1	58.3
精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	19	22.1	3.3	91.6

調査B-表19 GPの目標（複数回答） 有効回答GP数:85

	回答数	%
基本的な生活習慣の習得	70	82.4
身体機能維持・向上	62	72.9
対人関係の改善	81	95.3
作業能力・持続性の向上	69	81.2
病識を身に付ける	59	69.4
社会資源の利用	49	57.6
その他	18	21.2

調査B-表20 GP（外来は除く）における家族に対する支援

有効回答GP数：87

	回答数	%
家族に対する支援を実施	56	64.4
家族に対する支援なし	31	35.6

調査B-表21 GP（外来は除く）における家族に対する支援（複数回答）

有効回答GP数：54

	回答数	%
悩み相談（病気の理解や対応の仕方など）	29	53.7
家族教室	15	27.8
家族会	14	25.9
その他	16	29.6

調査B-表22 GP内のプログラム数と1週間の実施時間

有効回答GP数：86

	平均	SD
GP内プログラム数	9.7	5.6
1週間の実施時間（分）	1,434.0	1,061.4

◆調査 B（新規利用者調査）：患者票・基本情報（設問 1）

調査B-表23 性別

（有効回答：184）

	n	%
男性	135	73.4
女性	49	26.6

調査B-表24 利用開始時年齢

（有効回答：184）

平均	39.1歳
SD	14.5

調査B-表25 現在の居場所

（有効回答：183）

	n	%
自宅、賃貸住宅（家族と同居）	124	67.8
自宅、賃貸住宅（1人暮らし）	52	28.4
有料老人ホーム・軽費老人ホーム・サ高住	1	0.5
障害者グループホーム	2	1.1
障害者自立訓練施設	1	0.5
その他	3	1.6

調査B-表26 世帯構造

（有効回答：183）

	n	%
単独世帯	53	29.0
夫婦のみの世帯	14	7.7
夫婦と未婚の子のみの世帯	57	31.1
ひとり親と未婚の子のみの世帯	18	9.8
三世帯世帯	9	4.9
その他の世帯	32	17.5

調査B-表27 現在の就労状況 (有効回答: 184)

	n	%
無職 (就労経験なし)	14	7.6
失職 (就労経験あり、就業可)	28	15.2
失職 (就労経験あり、就業不可)	32	17.4
定年退職	4	2.2
休職中	80	43.5
正規雇用	3	1.6
パート	5	2.7
アルバイト	1	0.5
専業主婦	6	3.3
学生	4	2.2
その他	7	3.8

調査B-表28 心神喪失者等医療観察法医療

(有効回答: 168)

	n	%
対象者	2	1.2
非対象者	166	98.8
過去において対象者であった	0	0.0

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・疾患情報等 (設問 2~3)

調査B-表29 主傷病

(有効回答: 183)

	n	%
認知症 (他の精神疾患によるものは除く) (F00-03)	1	0.5
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	1	0.5
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	6	3.3
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0	0.0
統合失調症 (F20)	33	18.0
その他の精神病性障害 (F21-29)	2	1.1
気分 (感情) 障害 (F3)	82	44.8
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	35	19.1
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	0	0.0
成人の人格・行動の障害 (F6)	1	0.5
知的障害 (精神遅滞) (F7)	1	0.5
心理的発達障害 (F8)	18	9.8
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	2	1.1
詳細不明の精神障害 (F99)	1	0.5
てんかん (G40)	0	0.0

調査B-表30 その他の精神疾患の傷病

(有効回答: 183)

	n	%
なし	138	75.4
認知症（他の精神疾患によるものは除く）(F00-03)	1	0.5
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	0	0.0
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	0	0.0
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0	0.0
統合失調症 (F20)	1	0.5
その他の精神病性障害 (F21-29)	2	1.1
気分（感情）障害 (F3)	16	8.7
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	6	3.3
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	1	0.5
成人の人格・行動の障害 (F6)	2	1.1
知的障害（精神遅滞）(F7)	2	1.1
心理的発達の障害 (F8)	12	6.6
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	2	1.1
詳細不明の精神障害 (F99)	0	0.0
てんかん (G40)	0	0.0

調査B-表31 身体合併症（複数回答）

(有効回答: 60)

	n	%
高血圧症	12	20.0
糖尿病	12	20.0
脂質異常症	3	5.0
循環器疾患	6	10.0
腎疾患	0	0.0
呼吸器疾患	6	10.0
消化器疾患	11	18.3
内分泌疾患	5	8.3
筋骨格系疾患	4	6.7
泌尿器疾患	0	0.0
その他	23	38.3

調査B-表32 精神疾患の治療開始日から精神科デイケア等の新規開始までの日数

(有効回答: 183)

平均	2759.7日
SD	3261.7

調査B-表33

これまでの精神科での入院歴

(有効回答: 184)

	n	%
あり	57	31.0
なし	127	69.0

調査B-表34

精神科での入院歴がある場合の入院回数

(有効回答: 57)

平均	2.8回
SD	4.1

調査B-表35

精神科での入院歴がある場合、1年以上の入院の有無

(有効回答: 55)

	n	%
あり	2	3.6
なし	53	96.4

調査B-表36 精神科での入院歴がある場合、
入院中の精神科デイ・ケア等の実施

(有効回答: 56)

	n	%
実施した	3	5.4
実施しない	53	94.6

調査B-表37 精神科での入院歴がある場合、
直近の入院の主たる理由

(有効回答: 50)

	n	%
精神症状が強いため	30	60.0
病識がないため	0	0.0
セルフケアに著しい問題があるため	0	0.0
迷惑行為・他害行為の危険性が高いため	2	4.0
自傷行為・自殺企図の危険性が高いため	4	8.0
治療・服薬への抵抗が強いため	2	4.0
身体合併症の治療のため	0	0.0
自分の希望で入院	4	8.0
家族が入院を希望するため	1	2.0
食事や衛生管理ができないため	0	0.0
その他	7	14.0

◆調査 B (新規利用者調査) : 患者票・精神科デイ・ケア等の実施情報 (設問 4)

調査B-表38 当該患者が利用しているGPの目的分類

(有効回答: 181)

		n	%
疾患別	物質依存	0	0.0
	摂食障害	0	0.0
	発達障害	0	0.0
	パーソナリティ障害	0	0.0
	統合失調症	3	1.7
	気分・不安障害	0	0.0
目的別	生活機能維持	5	2.8
	病状悪化予防	0	0.0
	就労・就学支援	6	3.3
	復職支援	73	40.3
	再就労支援	3	1.7
	ひきこもり・孤立支援	7	3.9
	混在型	72	39.8
年代別	児童・思春期	0	0.0
	青年期	3	1.7
	高齢者	3	1.7
その他		6	3.3
合計		181	100.0

調査B-表39 利用開始月にに利用した精神科デイ・ケア等（複数回答）

（有効回答: 184）

	n	%
精神科ショート・ケア	93	50.5
精神科デイ・ケア	104	56.5
精神科デイ・ナイト・ケア	22	12.0
精神科ナイト・ケア	3	1.6

調査B-表40 利用開始月の最終週の

精神科デイ・ケア等利用時間合計

（有効回答: 179）

平均	12.8時間
SD	11.3

調査B-表41 精神科デイ・ケア等に関する患者の意向確認の頻度

（有効回答: 176）

	n	%
週に1回程度	61	34.7
月に2回程度（2週に1回程度）	24	13.6
月に1回程度	38	21.6
2ヶ月に1回程度	6	3.4
意向を確認していない	3	1.7
その他	44	25.0

調査B-表42

精神科デイ・ケア等を終了とするための目標項目

（有効回答: 178）

	n	%
症状の回復	50	28.1
意欲の回復	12	6.7
病識	2	1.1
対人関係能力	43	24.2
生活維持能力	13	7.3
業務遂行能力	25	14.0
服薬の遵守	1	0.6
薬物等の中止	0	0.0
その他	32	18.0

調査B-表43 現在の主治医

（有効回答: 179）

	n	%
自院に主治医がいる	117	65.4
他院に主治医がいる	62	34.6

調査B-表44 精神科医によるデイケア診察以外の精神療法などのタイミング

（有効回答: 183）

	n	%
精神科デイ・ケア等の実施日に診療	48	26.2
精神科デイ・ケア等の実施日とは別の日に診療	109	59.6
精神科デイ・ケア等の実施日と実施日以外の両方で診療	21	11.5
その他	5	2.7

調査B-表45 精神科デイ・ケア等を実施する主な目的（2つまで選択）

（有効回答：182）

	n	%
家事等、日常生活技能の習得	10	5.5
症状や再発のサインへの対処スキルの獲得	92	50.5
疾病と治療についての理解	16	8.8
復職支援	86	47.3
服薬アドヒアランスの向上	2	1.1
レクリエーションのため	7	3.8
自己存在感を培う場所確保のため	33	18.1
友人作りのため	21	11.5
就学・就労支援	41	22.5
その他	14	7.7

調査B-表46 同時間帯にいくつかのプログラムを設けている場合、どのように選択・決定しますか

（有効回答：182）

	n	%
プログラムは1種類のみである	50	27.5
あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に本人がその都度決定	60	33.0
あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に、専門職が本人の意向を踏まえてその都度決定	9	4.9
あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に専門職がその都度決定	1	0.5
1ヶ月単位・1週間単位などで、本人が決定	6	3.3
1ヶ月単位・1週間単位などで、専門職が本人の意向を踏まえてその都度決定	23	12.6
1ヶ月単位・1週間単位などで、専門職が決定	31	17.0
その他	2	1.1

◆調査 B（新規利用者調査）：患者票・精神科デイ・ケア等と併用している各種サービス等（設問 5～6）

調査B-表47 精神科デイケア等以外に利用している診療やサービス

（複数回答）

（有効回答：169）

	n	%
薬物療法	161	95.3
精神療法等の精神科専門療法	73	43.2
訪問看護（訪問看護ステーション）	2	1.2
訪問看護	6	3.6
障害福祉サービス	10	5.9
介護保険サービス	0	0.0

調査B-表48 精神障害者福祉手帳

（有効回答：168）

	n	%
手帳をもっていない	133	79.2
1級	1	0.6
2級	19	11.3
3級	15	8.9

調査B-表49 障害支援区分

(有効回答: 184)

	n	%
把握していない	51	27.7
申請なし	105	57.1
非該当	25	13.6
区分1	0	0.0
区分2	3	1.6
区分3	0	0.0
区分4	0	0.0
区分5	0	0.0
区分6	0	0.0

調査B-表50 要介護区分

(有効回答: 184)

	n	%
把握していない	24	13.0
申請なし	120	65.2
非該当	40	21.7
要支援1	0	0.0
要支援2	0	0.0
要介護1	0	0.0
要介護2	0	0.0
要介護3	0	0.0
要介護4	0	0.0
要介護5	0	0.0

調査B-表51 障害福祉サービス (複数選択)

(有効回答: 184)

	n	%		n	%
把握していない	16	8.7	施設入所支援	1	0.5
ない	149	81.0	自立支援 (技能訓練)	0	0.0
居宅介護	5	2.7	自立支援 (生活訓練)	1	0.5
重度訪問介護	0	0.0	就労移行支援	2	1.1
同行援護	1	0.5	就労継続支援A型	0	0.0
行動援護	0	0.0	就労継続支援B型	1	0.5
療養介護	0	0.0	計画相談支援	7	3.8
生活介護	1	0.5	地域相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)	1	0.5
短期入所	0	0.0	基本相談支援	0	0.0
重度障害者等包括支援	0	0.0	地域生活支援事業	2	1.1
共同生活援助	2	1.1	その他	2	1.1

調査B-表52 介護保険サービス (複数回答)

(有効回答: 184)

	n	%		n	%
把握していない	18	9.8	短期入所生活介護	0	0.0
ない	165	89.7	通所リハビリテーション	0	0.0
訪問介護	0	0.0	訪問入浴介護	0	0.0
訪問看護	1	0.5	夜間対応型訪問介護	0	0.0
訪問リハビリテーション	0	0.0	福祉用具貸与	0	0.0
通所介護	0	0.0	住宅改修	0	0.0
短期入所療養介護	0	0.0	その他	0	0.0

調査B-表53 経済的支援サービス (複数回答)

(有効回答: 168)

	n	%		n	%
自立支援医療 (精神通院医療)	160	95.2	障害者年金	18	10.7
自立支援医療 (更生医療)	0	0.0	労災保険	0	0.0
自立支援医療 (育成医療)	0	0.0	傷病手当金	38	22.6
身体障害者手帳	3	1.8	民間保険	1	0.6
療育手帳 (知的障害者)	4	2.4	団体長期障害所得補償保険(GLTD)	1	0.6
生活保護	18	10.7	自賠責保険	0	0.0
ひとり親補助	0	0.0	その他	2	1.2
重度心身障害者医療費助成制度	0	0.0			

◆調査 B（新規利用者調査）：患者票・LASMI フェイスシート（設問 7）

調査B-表54

精神科初診時の年齢

（有効回答：183）

平均	31.4歳
SD	12.9

調査B-表55

精神科入院回数（経験なしは0）

（有効回答：184）

平均	0.9回
SD	2.6

調査B-表56

精神科通算入院期間（入院ありの場合）

（有効回答：50）

平均	4.6ヶ月
SD	5.5

調査B-表57

発病前の最長の就業年数

（雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可）

（有効回答：163）

平均	8.7年
SD	9.9

調査B-表58

発病後の最長の就業年数

（雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可）

（有効回答：162）

平均	2.6年
SD	4.9

調査B-表59

生活臨床でいう生活類型

（有効回答：184）

	n	%
能動型	60	32.6
受動型	76	41.3
未定・不明	48	26.1

調査B-表60 自殺企図（自傷を含む）

（有効回答：184）

	n	%
無し	139	75.5
過去1ヶ月以内にあった	5	2.7
過去1ヶ月から1年以内にあった	11	6.0
過去1年以前にあった	14	7.6
不明	15	8.2

調査B-表61 他者への暴力行為

（有効回答：184）

	n	%
無し	156	84.8
過去1ヶ月以内にあった	0	0.0
過去1ヶ月から1年以内にあった	7	3.8
過去1年以前にあった	9	4.9
不明	12	6.5

調査B-表62 性的逸脱行為（露出・接触・性的強要）

（有効回答：184）

	n	%
無し	170	92.4
過去1ヶ月以内にあった	0	0.0
過去1ヶ月から1年以内にあった	0	0.0
過去1年以前にあった	2	1.1
不明	12	6.5

調査B-表63 問題飲酒

（生活の破綻につながるような度を越した飲酒）

（有効回答：184）

	n	%
無し	162	88.0
過去1ヶ月以内にあった	0	0.0
過去1ヶ月から1年以内にあった	3	1.6
過去1年以前にあった	3	1.6
不明	16	8.7

◆調査 B（新規利用者調査）：回収率・転帰

調査B-表64 各調査時・回収率および転帰

	6ヶ月後		12ヶ月後		18ヶ月後	
	調査対象者		調査対象者		調査対象者	
	(n=184)		(n=133)		(n=77)	
	n	%	n	%	n	%
利用継続	122	66.3	66	49.6	49	63.6
利用なし(直近1カ月)	11	6.0	11	8.3	10	13.0
終了	35	19.0	38	28.6	8	10.4
中止・中断	16	8.7	18	13.5	6	7.8
未回収	0	0.0	0	0.0	4	5.2
回収率	100.0		100.0		94.8	

調査B-表65 各調査時・転帰内訳

		6ヶ月後		12ヶ月後		18ヶ月後	
		(n=184)		(n=133)		(n=77)	
		n	%	n	%	n	%
利用継続		122	66.3	66	49.6	49	63.6
利用終了	家庭復帰	2	1.1	3	2.3	1	1.3
	就労（自営含む）	5	2.7	6	4.5	2	2.6
	復職（自営含む）	23	12.5	23	17.3	3	3.9
	就学	0	0.0	1	0.8	0	0.0
	就労継続支援A型／特例子会社	2	1.1	1	0.8	0	0.0
	就労移行支援事業所	1	0.5	1	0.8	0	0.0
	就業・生活支援センター	1	0.5	0	0.0	0	0.0
	就労継続支援B型	0	0.0	1	0.8	1	1.3
	その他	1	0.5	2	1.5	1	1.3
中止・中断等	入院（精神疾患）	5	2.7	3	2.3	0	0.0
	病状悪化（精神疾患）	2	1.1	4	3.0	3	3.9
	病状悪化（身体疾患）	1	0.5	0	0.0	0	0.0
	自殺	0	0.0	1	0.8	0	0.0
	転院（転居含む）	0	0.0	2	1.5	1	1.3
	失職（自己都合・会社都合問わず）	2	1.1	1	0.8	0	0.0
	通所拒否（一定期間通所なし等）	3	1.6	4	3.0	1	1.3
	その他	3	1.6	3	2.3	1	1.3
利用なし（直近1カ月）		11	6.0	11	8.3	10	13.0
未回収		0	0.0	0	0.0	4	5.2

調査B-表66 最終転帰

(n=184)

	n	%
利用継続	49	26.6
利用終了		
家庭復帰	6	3.3
就労（自営含む）	13	7.1
復職（自営含む）	49	26.6
就学	1	0.5
就労継続支援A型／特例子会社	3	1.6
就労移行支援事業所	2	1.1
就業・生活支援センター	1	0.5
就労継続支援B型	2	1.1
その他	4	2.2
中止・中断等		
入院（精神疾患）	8	4.3
病状悪化（精神疾患）	9	4.9
病状悪化（身体疾患）	1	0.5
自殺	1	0.5
転院（転居含む）	3	1.6
失職（自己都合・会社都合問わず）	3	1.6
通所拒否（一定期間通所なし等）	8	4.3
その他	7	3.8
転帰不明	14	7.6

◆調査 B (新規利用者調査) : 各種スコア

調査B-表67 各調査時・LASMIスコア

	D (Daily living) / 日常生活			I (Interpersonal relations) / 対人関係			W (Work) / 労働または課題 の遂行			E (Endurance & Stability) / 持続性・安定性			R (self Recognition) / 自己認識		
	n	mean	SD	n	mean	SD	n	mean	SD	n	mean	SD	n	mean	SD
組入れ時	184	0.7	0.8	184	0.9	0.7	183	1.0	0.7	184	2.6	1.4	184	0.9	0.8
6ヶ月後 全体	182	0.7	0.8	182	0.8	0.7	181	0.9	0.8	183	2.4	1.2	183	0.9	0.8
うち継続中	122	0.8	0.8	121	0.8	0.7	121	1.0	0.7	122	2.6	1.0	122	0.9	0.8
うち終了者	35	0.2	0.4	35	0.3	0.4	34	0.4	0.5	35	1.6	1.5	35	0.4	0.6
うち中止・中断者	16	0.9	0.9	16	1.2	0.9	16	1.2	0.9	16	2.8	1.4	16	1.1	0.9
12ヶ月後 全体	133	0.7	0.8	133	0.8	0.7	132	1.0	0.8	133	2.5	1.0	133	0.9	0.8
うち継続中	65	1.0	0.8	65	1.1	0.7	65	1.2	0.9	65	2.4	0.9	65	1.1	0.8
うち終了者	38	0.3	0.5	38	0.3	0.6	37	0.4	0.7	38	2.0	1.0	38	0.4	0.6
うち中止・中断者	18	0.8	0.5	18	0.9	0.6	18	1.2	0.8	18	3.0	1.1	18	1.2	0.9
18ヶ月後 全体	76	1.0	0.8	76	1.1	0.7	76	1.2	0.8	76	2.4	1.1	76	1.1	0.8
うち継続中	49	1.1	0.9	49	1.1	0.7	49	1.3	0.8	49	2.5	0.9	49	1.1	0.8
うち終了者	8	0.4	0.4	8	0.5	0.5	8	0.6	0.6	8	1.6	1.2	8	0.5	0.6
うち中止・中断者	6	0.8	0.4	6	1.1	0.5	6	1.2	0.7	6	2.7	1.5	6	1.4	0.9

調査B-表68 各調査時・CIMスコア

	n	mean	SD
組入れ時	181	35.6	8.2
6ヶ月後 全体	143	36.4	7.9
うち継続中	117	36.0	8.1
うち終了者	22	38.5	5.5
うち中止・中断者	2	30.5	13.4
12ヶ月後 全体	98	36.8	7.6
うち継続中	64	36.8	6.7
うち終了者	27	38.3	8.6
うち中止・中断者	5	28.4	9.0
18ヶ月後 全体	56	37.0	6.6
うち継続中	48	37.2	6.6
うち終了者	4	40.0	6.6
うち中止・中断者	2	35.5	3.5

調査B-表69 各調査時・CSQスコア

	n	mean	SD
6ヶ月後調査時終了者	22	27.6	4.0
12ヶ月後調査時終了者	29	27.9	3.2
18ヶ月後調査時終了者	7	26.9	5.4
18ヶ月後調査時継続者	49	24.4	3.0

精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究

患者票

重要

* この患者票は、精神科デイ・ケア等スタッフにお伺いするものです。
 * H28年12月15日に貴院の精神科デイ・ケア等に参加した全員について、患者1人につき本票1部を記入して下さい。
 * 「精神科デイ・ケア等」とは、精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科デイ・ナイト・ケア、精神科ナイト・ケアをさし、**重度認知症デイ・ケアは対象外**です。
 * 調査IDは個人の特定を防ぐため、カルテ番号などの利用は避け、貴施設にて独自の番号を割り付けて下さい。「**基礎調査対応表**」をご記入頂き、2018年12月末日まで貴院にて保管して下さい。

貴施設名			
当該患者・調査ID		記入スタッフ様氏名	

設問 1. 患者の基本情報

① 性別	01. 男性 02. 女性	② 年齢	12月15日現在：（ ）歳
③ 現在の居場所 (○は1つ)	01. 自宅、賃貸住宅など（家族と同居） 04. 障害者グループホーム 02. 自宅、賃貸住宅など（1人暮らし） 05. 障害者自立訓練施設 03. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・サ高住 06. その他（ ）		
④ 世帯構造 (○は1つ)	01. 単独世帯 04. ひとり親と未婚の子のみの世帯 02. 夫婦のみの世帯 05. 三世帯世帯 03. 夫婦と未婚の子のみの世帯 06. その他の世帯		
⑤ 現在の 就労状況 (○は1つ)	01. 無職（就労経験なし） 05. 休職中 09. 専業主婦 02. 失職（就労経験あり、就業可） 06. 正規雇用 10. 学生 03. 失職（就労経験あり、就業不可） 07. パート 11. その他（ ） 04. 定年退職 08. アルバイト		
⑥ 心神喪失者等医療観察法医療 (○は1つ)	01. 対象者 02. 非対象者 03. 過去において対象者であった		

設問 2. 患者の疾患等

① 主傷病 (○は1つ)	01. 認知症（他の精神疾患によるものは除く）(F00-03) 02. その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09) 03. アルコールによる精神・行動の障害 (F10) 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19) 05. 統合失調症 (F20) 06. その他の精神病性障害 (F21-29) 07. 気分（感情）障害 (F3) 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)	09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5) 10. 成人の人格・行動の障害 (F6) 11. 知的障害（精神遅滞）(F7) 12. 心理的発達の障害(F8) 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98) 14. 詳細不明の精神障害 (F99) 15. てんかん (G40)
② その他の 精神疾患の 傷病 (○は1つ)	00. なし 01. 認知症（他の精神疾患によるものは除く）(F00-03) 02. その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09) 03. アルコールによる精神・行動の障害 (F10) 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19) 05. 統合失調症 (F20) 06. その他の精神病性障害 (F21-29) 07. 気分（感情）障害 (F3) 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4) 09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5) 10. 成人の人格・行動の障害 (F6) 11. 知的障害（精神遅滞）(F7) 12. 心理的発達の障害(F8) 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98) 14. 詳細不明の精神障害 (F99) 15. てんかん (G40)	

③ 身体合併症 (ある場合は いくつでも○)	01. 高血圧症	04. 循環器疾患	07. 消化器疾患	10. 泌尿器疾患
	02. 糖尿病	05. 腎疾患	08. 内分泌疾患	11. その他
	03. 脂質異常症	06. 呼吸器疾患	09. 筋骨格系疾患	()

設問 3. 精神科デイ・ケア等の開始前後の状況

① 精神疾患の治療開始日	平成・昭和 () 年 () 月 () 日			
② これまでの精神科での入院の有無 (○は1つ)	01. あり		02. なし	
③ これまでの精神科での入院回数	全部で () 回			
④ 精神科での1年以上の入院の有無 (○は1つ)	01. あり		02. なし	
⑤ 入院中の精神科デイ・ケア等の実施 (○は1つ)	01. 実施した		02. 実施していない	
⑥ 直近の入院の 主たる理由 (○は1つ)	01. 精神症状が強いため	07. 身体合併症の治療のため		
	02. 病識がないため	08. 自分の希望で入院		
	03. セルフケアに著しい問題があるため	09. 家族が入院を希望するため		
	04. 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため	10. 食事や衛生管理ができないため		
	05. 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため	11. その他 ()		
	06. 治療・服薬への抵抗が強いため			

設問 4. 精神科デイ・ケア等の実施状況 (平成 28 年 11月1 ヶ月間について)

① 当該患者が主として利用している グループ (GP) の種類	施設票設問 7 にて記入したデイケア内のグループ (GP) の種類 → グループ (GP) 番号: ()			
② 精神科デイ・ケア等の利用開始日	平成 () 年 () 月 () 日 * 貴院で最初に開始した日			
③ 11月末日現在、利用開始から1年を超えているか	01. 超えていない		02. 超えている	
④ 11月末日現在、利用開始から1年を超えている場合、その主たる理由 (○は1つ)	01. 症状が重度			
	02. 症状が不安定			
	03. 参加が不規則			
	04. 行先がない			
	05. 本人の希望			
	06. 家族の依頼			
	07. 見通しが立たない			
	08. その他 ()			
⑤ 11月に利用した精神科デイ・ケア等 (すべてに○)	01. 精神科ショート・ケア			
	02. 精神科デイ・ケア			
	03. 精神科デイ・ナイト・ケア			
	04. 精神科ナイト・ケア			
⑥ 精神科デイ・ケア等の利用回数 平成 28 年 11月27日~12月3日 の 7日間の利用回数	a. 精神科ショート・ケア () / 月			
	b. 精神科デイ・ケア () / 月			
	c. 精神科デイ・ナイト・ケア () / 月			
	d. 精神科ナイト・ケア () / 月			
⑦ 精神科デイ・ケア等に関する 患者の意向確認の頻度 (○は1つ)	01. 週に1回程度		04. 2ヶ月に1回程度	
	02. 月に2回程度 (2週に1回程度)		05. 意向を確認していない	
	03. 月に1回程度		06. その他 ()	
⑧ 精神科デイ・ケア等を終了とする ための目標項目 (○は1つ)	01. 症状の回復		04. 対人関係能力	
	02. 意欲の回復		05. 生活維持能力	
	03. 病識		06. 業務遂行能力	
			07. 服薬の遵守	
			08. 薬物等の中止	
			09. その他 ()	
⑨ 現在の主治医 (○は1つ)	01. 自院に主治医がいる		02. 他院に主治医がいる	
⑩ 精神科の医師による デイケア診察以外の精神療法 などのタイミング (○は1つ)	01. 精神科デイ・ケア等の実施日に診療			
	02. 精神科デイ・ケア等の実施日とは別の日に診療			
	03. 精神科デイ・ケア等の実施日と実施日以外の両方で診療			
	04. その他 ()			
⑪ 精神科デイ・ケア等を 実施する主な目的 (○は2つまで)	01. 家事等、日常生活技能の習得		06. レクリエーションのため	
	02. 症状や再発のサインへの対処スキルの獲得		07. 自己存在感を培う場所確保のため	
	03. 疾病と治療についての理解		08. 友人作りのため	
	04. 復職支援		09. 就学・就労支援	
	05. 服薬アドヒアランスの向上		10. その他 ()	

⑫ 同時時間帯にいくつかのプログラムを設けている場合、どのように選択・決定しますか。(○は1つだけ) 例：9～12時のプログラム：卓球又は陶芸または映画鑑賞等を同時に実施している施設など。	
00. プログラムは1種類のみである。	
01. あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に本人がその都度決定。	
02. あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に、専門職が本人の意向を踏まえてその都度決定。	
03. あらかじめ用意された数種のプログラムから、来院時に専門職がその都度決定。	
04. 1ヶ月単位・1週間単位などで、本人が決定。	
05. 1ヶ月単位・1週間単位などで、専門職が本人の意向を踏まえてその都度決定。	
06. 1ヶ月単位・1週間単位などで、専門職が決定。	
07. その他(具体的に：)	

設問5. 現在精神科デイ・ケア等と併用している各種サービス

① 精神科デイ・ケア等以外に利用している診療やサービス(すべてに○)	01. 薬物療法	04. 訪問看護		
	02. 精神療法等の精神科専門療法	05. 障害福祉サービス		
	03. 訪問看護(訪問看護ステーション)	06. 介護保険サービス		
② 精神障害者福祉手帳(○は1つ)	01. 手帳をもっていない	02. 1級	03. 2級	04. 3級
③ 障害支援区分	00. 把握していない	03. 区分1	06. 区分4	
	01. 申請なし	04. 区分2	07. 区分5	
	02. 非該当	05. 区分3	08. 区分6	
④ 要介護区分	00. 把握していない	03. 要支援1	06. 要介護2	09. 要介護5
	01. 申請なし	04. 要支援2	07. 要介護3	
	02. 非該当	05. 要介護1	08. 要介護4	
⑤ 障害福祉サービス(すべてに○)	00. 把握していない	08. 短期入所	16. 就労継続支援B型	
	01. ない	09. 重度障害者等包括支援	17. 計画相談支援	
	02. 居宅介護	10. 共同生活援助	18. 地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	
	03. 重度訪問介護	11. 施設入所支援	19. 基本相談支援	
	04. 同行援護	12. 自立訓練(技能訓練)	20. 地域生活支援事業	
	05. 行動援護	13. 自立訓練(生活訓練)	21. その他	
	06. 療養介護	14. 就労移行支援	()	
	07. 生活介護	15. 就労継続支援A型	()	
⑥ 介護保険サービス(すべてに○)	00. 把握していない	05. 通所介護	10. 夜間対応型訪問介護	
	01. ない	06. 短期入所療養介護	11. 福祉用具貸与	
	02. 訪問介護	07. 短期入所生活介護	12. 住宅改修	
	03. 訪問看護	08. 通所リハビリテーション	13. その他	
	04. 訪問リハビリテーション	09. 訪問入浴介護	()	
			()	

設問6. 経済的支援サービスの利用状況について

① 現在利用しているサービス(すべてに○)	
01. 自立支援医療(精神通院医療)	09. 障害者年金
02. 自立支援医療(更生医療)	10. 労災保険
03. 自立支援医療(育成医療)	11. 傷病手当金
04. 身体障害者手帳	12. 民間保険
05. 療育手帳(知的障害者)	13. 団体長期障害所得補償保険(GLTD)
06. 生活保護	14. 自賠責保険
07. ひとり親補助	15. その他()
08. 重度心身障害者医療費助成制度	

設問 7. LASMI (精神障害者社会生活評価尺度) 「LASMI 利用マニュアル」 参照

(重要) 調査票記入日前後の任意の日の状態についてお書き下さい LASMI・フェイスシート II (LASMI 利用マニュアル P4-5 参照) わかる限り記載して下さい。不明の場合、特に指示がなければ、9 と記載して下さい。

09. 精神科初診時の年齢	
10. 精神科入院回数 (入院経験なしは 0 と記入)	
11. 精神科通算入院期間 (入院経験なしは 0 と記入、3 年以上の場合は月数不要)	
12. 発病前の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
13. 発病後の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
14. 生活臨床でいう生活類型 (生活類型については、LASMI 利用マニュアル P5 を参照)	
15. 自殺企図 (自傷を含む) ① 無し ② 過去 1 ヶ月以内にあった ③ 過去 1 ヶ月から 1 年以内にあった ④ 過去 1 年以前にあった ⑤ 不明	
16. 他者への暴力行為 ① 無し ② 過去 1 ヶ月以内にあった ③ 過去 1 ヶ月から 1 年以内にあった ④ 過去 1 年以前にあった ⑤ 不明	
17. 性的逸脱行為 (露出・接触・性的強要) ① 無し ② 過去 1 ヶ月以内にあった ③ 過去 1 ヶ月から 1 年以内にあった ④ 過去 1 年以前にあった ⑤ 不明	
18. 問題飲酒 (生活の破綻につながるような度を越した飲酒) ① 無し ② 過去 1 ヶ月以内にあった ③ 過去 1 ヶ月から 1 年以内にあった ④ 過去 1 年以前にあった ⑤ 不明	

LASMI・得点記入票

1. D (Daily living) /日常生活

LASMI 利用マニュアル P6 - 7 を参照の上、0 ~ 4 のいずれかの数字を記入して下さい

D-1. 生活リズムの確立	
D-2. 身だしなみへの配慮—整容	
D-3. 身だしなみへの配慮—服装	
D-4. 居室の掃除やかたづけ	
D-5. バランスのよい食生活	
D-6. 交通機関	
D-7. 金融機関	
D-8. 買物	
D-9. 大切な物の管理	
D-10. 金銭管理	
D-11. 服薬管理	
D-12. 自由時間の過ごし方	

2. I (Interpersonal relations) /対人関係

LASMI 利用マニュアル P7 - 9 を参照の上、0 ~ 4 のいずれかの数字を記入して下さい

I-1.	発語の明瞭さ	
I-2.	自発性	
I-3.	状況判断	
I-4.	理解力	
I-5.	主張	
I-6.	断わる	
I-7.	応答	
I-8.	協調性	
I-9.	マナー	
I-10.	自主的なつきあい	
I-11.	援助者とのつきあい	
I-12.	友人とのつきあい	
I-13.	異性とのつきあい	

3. W (Work) /労働または課題の遂行

LASMI 利用マニュアル P9 - 10 を参照の上、0 ~ 4 のいずれかの数字を記入して下さい

W-1.	役割の自覚	
W-2.	課題への挑戦	
W-3.	課題達成の見通し	
W-4.	手順の理解	
W-5.	手順の変更	
W-6.	課題遂行の自主性	
W-7.	持続性・安定性	
W-8.	ペースの変更	
W-9.	あいまいさに対する対処	
W-10.	ストレス耐性	

4. E (Endurance & Stability) /持続性・安定性

LASMI 利用マニュアル P10 - 11 を参照の上、0 ~ 5 のいずれかの数字を記入して下さい

E-1.	現在の社会適応度	
------	----------	--

LASMI 利用マニュアル P11 を参照の上、0 ~ 6 のいずれかの数字を記入して下さい

E-2.	持続性・安定性の傾向	
------	------------	--

5. R (self Recognition) /自己認識

LASMI 利用マニュアル P11 を参照の上、0 ~ 4 のいずれかの数字を記入して下さい

R-1.	障害の理解	
R-2.	過大 (過小) な自己評価	
R-3.	現実離れ	

～本票は以上で終了です～

2017 年 1月31日までに A-2)施設票と一緒に返信下さい

精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究

施設票

重要

- * この施設票は、事務スタッフおよび精神科デイ・ケア等スタッフにお伺いするものです。
- * 「精神科デイ・ケア等」とは、精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科デイ・ナイト・ケア、精神科ナイト・ケアをさし、**重度認知症デイ・ケアは対象外**です。
- * 特に指定のない設問については、**2016年11月末日を基準**に回答して下さい。

設問 1. 貴施設の基本情報について

① 医療機関名	② 所在地 () 都道府県	
③ 貴施設の医療施設の区分に○をして、その病床数をお書き下さい。(1つのみ○)		
精神科以外を 含む全病床数	精神科以外を 含む全病床数	
01. 大学附属病院	05. 無床診療所	
02. 総合病院	06. 精神保健福祉センター	
03. 精神科病院	07. その他	
04. 有床診療所		
④ 貴施設の専門病床の状況についてお書き下さい。		
病床数	病床数	
01. 精神科救急	06. アルコール	
02. 急性期治療	07. 薬物	
03. 老人性認知症 疾患治療	08. アルコール・薬物混合	
04. 精神療養	09. 児童思春期	
05. 老人精神	10. 合併症	
	11. 医療観察法	
⑤ 地域移行機能強化病棟への申請を行う予定はありますか？申請済みの場合は、何床申請しましたか？(1つのみ○)		
01. 検討中	02. 申請済 () 床申請	03. 申請しない
⑥ 医療観察法の指定通院医療機関ですか？(○は1つ)		02. いいえ
⑦ 同一法人または関連法人が運営する施設・事業所(すべてに○)		
01. 該当なし	05. 居宅介護支援事業所	09. 通所介護事業所
02. 介護老人保健施設	06. 地域包括支援センター	10. 介護療養型医療施設
03. 介護老人福祉施設	07. 訪問介護事業所	11. 障害福祉サービス事業所
04. 訪問看護ステーション	08. 小規模多機能型居宅介護事業所	12. その他 ()
⑧ 地域住民との交流を定期的に行っていますか？(すべてに○) 例) 定期開催しているバザー、コンサートなど		
01. 定期開催しているものはなし	02. 病院が主体となり定期開催	03. デイケアが主体となり定期開催

設問 2. 貴施設が届出している精神科デイ・ケア等の単位について

(事務スタッフの方がお答え下さい)

① 厚生局に届け出している精神科デイ・ケア等の単位数 * 単位の数え方は、調査説明書 P 3 をご覧下さい。	単位
---	----

- * 1 単位の場合、設問 3 の記入後、設問 7 へ
- * 2 単位の場合、設問 4 の記入後、設問 7 へ
- * 3 単位以上の場合、P 2 をコピーしてすべての単位について記入して下さい

設問 3. 厚生局に届出している 1 単位目について (事務スタッフの方がお答え下さい)

① 1 単位目の届出区分とその概要 (あてはまるものすべてに○とその概要を記入)						
			定員	面積		
			定員	面積	定員	面積
01. 精神科ショート・ケア (小規模)	人	m	04. 精神科デイ・ケア (大規模)	人	m	
02. 精神科ショート・ケア (大規模)	人	m	05. 精神科ナイト・ケア	人	m	
02. 精神科デイ・ケア (小規模)	人	m	06. 精神科デイ・ナイト・ケア	人	m	
② 1 単位目に登録している職員数 (実人数)						
* 専従とは、原則として当該単位にのみに従事すること。						
* 専任とは、当該単位以外の業務と兼務していること。						
* 複数の資格保持者は、1 単位目での業務上、主たる資格にて記入して下さい。(1人1資格として記入)						
			専従	専任		
01. 医師	人	人	06. 臨床心理技術者	人	人	
02. 看護師・准看護師	人	人	07. 看護補助者	人	人	
03. 作業療法士	人	人	08. その他	人	人	
04. 精神保健福祉士	人	人	09. 合計	人	人	
05. 社会福祉士	人	人				
③ 1 単位目の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の利用者			a. 1 単位目の 11 月の登録者 () 人			
* 実利用者とは、当該期間に 1 度以上の利用の実績があった者であり、電話でのコンタクトのみの者は含みません			b. うち、実利用者 () 人			
			c. うち、早期加算対象者 (1 年未満) () 人			
			d. うち、新規利用者 () 人			
			e. うち、1 年超利用者 () 人			
			f. うち、3 年超利用者 () 人			
			④ 平成 28 年 9 月～11 月の 3 ヶ月間の利用者のうち			a. DC を終了して復職、就労、就労施設等へ移った者 () 人
			b. 中止または脱落した者 () 人			

設問 4. 厚生局に届出している 2 単位目について (事務スタッフの方がお答え下さい)

① 2 単位目の届出区分とその概要 (あてはまるものすべてに○とその概要を記入)						
			定員	面積		
			定員	面積	定員	面積
01. 精神科ショート・ケア (小規模)	人	m	04. 精神科デイ・ケア (大規模)	人	m	
02. 精神科ショート・ケア (大規模)	人	m	05. 精神科ナイト・ケア	人	m	
02. 精神科デイ・ケア (小規模)	人	m	06. 精神科デイ・ナイト・ケア	人	m	
② 2 単位目に登録している職員数 (実人数)						
* 専従とは、原則として当該単位にのみに従事すること。						
* 専任とは、当該単位以外の業務と兼務していること。						
* 複数の資格保持者は、1 単位目での業務上、主たる資格にて記入して下さい。(1人1資格として記入)						
			専従	専任		
01. 医師	人	人	06. 臨床心理技術者	人	人	
02. 看護師・准看護師	人	人	07. 看護補助者	人	人	
03. 作業療法士	人	人	08. その他	人	人	
04. 精神保健福祉士	人	人	09. 合計	人	人	
05. 社会福祉士	人	人				
③ 2 単位目の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の利用者			a. 2 単位目の 11 月の登録者 () 人			
* 実利用者とは、当該期間に 1 度以上の利用の実績があった者であり、電話でのコンタクトのみの者は含みません			b. うち、実利用者 () 人			
			c. うち、早期加算対象者 (1 年未満) () 人			
			d. うち、新規利用者 () 人			
			e. うち、1 年超利用者 () 人			
			f. うち、3 年超利用者 () 人			
			④ 平成 28 年 9 月～11 月の 3 ヶ月間の利用者のうち			a. DC を終了して復職、就労、就労施設等へ移った者 () 人
			b. 中止または脱落した者 () 人			

設問 5. 厚生局に届出している 3 単位目について (事務スタッフの方がお答え下さい)

① 3 単位目の届出区分とその概要 (あてはまるものすべてに○とその概要を記入)							
		定員	面積			定員	面積
01.	精神科ショート・ケア (小規模)	人	m	04.	精神科デイ・ケア (大規模)	人	m
02.	精神科ショート・ケア (大規模)	人	m	05.	精神科ナイト・ケア	人	m
02.	精神科デイ・ケア (小規模)	人	m	06.	精神科デイ・ナイト・ケア	人	m
② 3 単位目に登録している職員数 (実人数)							
* 専従とは、原則として当該単位にのみに従事すること。 * 専任とは、当該単位以外の業務と兼務していること。 * 複数の資格保持者は、1 単位目での業務上、主たる資格にて記入して下さい。(1人1資格として記入)							
		専従	専任			専従	専任
01.	医師	人	人	06.	臨床心理技術者	人	人
02.	看護師・准看護師	人	人	07.	看護補助者	人	人
03.	作業療法士	人	人	08.	その他	人	人
04.	精神保健福祉士	人	人	09.	合計	人	人
05.	社会福祉士	人	人				
③ 3 単位目の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の利用者				a. 3 単位目の 11 月の登録者 () 人			
* 実利用者とは、当該期間に 1 度以上の利用の実績があった者であり、電話でのコンタクトのみの者は含みません				b. うち、実利用者 () 人			
				c. うち、早期加算対象者 (1 年未満) () 人			
				d. うち、新規利用者 () 人			
				e. うち、1 年超利用者 () 人			
				f. うち、3 年超利用者 () 人			
④ 平成 28 年 9 月～11 月の 3 ヶ月間の利用者のうち				a. DC を終了して復職、就労、就労施設等へ移った者 () 人			
				b. 中止または脱落した者 () 人			

設問 6. 厚生局に届出している 4 単位目について (事務スタッフの方がお答え下さい)

① 4 単位目の届出区分とその概要 (あてはまるものすべてに○とその概要を記入)							
		定員	面積			定員	面積
01.	精神科ショート・ケア (小規模)	人	m	04.	精神科デイ・ケア (大規模)	人	m
02.	精神科ショート・ケア (大規模)	人	m	05.	精神科ナイト・ケア	人	m
02.	精神科デイ・ケア (小規模)	人	m	06.	精神科デイ・ナイト・ケア	人	m
② 4 単位目に登録している職員数 (実人数)							
* 専従とは、原則として当該単位にのみに従事すること。 * 専任とは、当該単位以外の業務と兼務していること。 * 複数の資格保持者は、1 単位目での業務上、主たる資格にて記入して下さい。(1人1資格として記入)							
		専従	専任			専従	専任
01.	医師	人	人	06.	臨床心理技術者	人	人
02.	看護師・准看護師	人	人	07.	看護補助者	人	人
03.	作業療法士	人	人	08.	その他	人	人
04.	精神保健福祉士	人	人	09.	合計	人	人
05.	社会福祉士	人	人				
③ 4 単位目の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の利用者				a. 4 単位目の 11 月の登録者 () 人			
* 実利用者とは、当該期間に 1 度以上の利用の実績があった者であり、電話でのコンタクトのみの者は含みません				b. うち、実利用者 () 人			
				c. うち、早期加算対象者 (1 年未満) () 人			
				d. うち、新規利用者 () 人			
				e. うち、1 年超利用者 () 人			
				f. うち、3 年超利用者 () 人			
④ 平成 28 年 9 月～11 月の 3 ヶ月間の利用者のうち				a. DC を終了して復職、就労、就労施設等へ移った者 () 人			
				b. 中止または脱落した者 () 人			

設問 7. デイケアにおける目的の異なるグループ (GP) について

① デイケアの中に何種類のグループがありますか？	種類
--------------------------	----

*グループ (GP) の数え方は、
[調査説明書 P 3](#) をご覧ください



② 設問 6-①で回答した種類の数だけ「GP①」から順に記入して下さい

(記入例)

① グループ名		② 当該グループを実施する単位		③ 当該グループの定員	
リカバリーグループ「あおい」		設問 3~6 の (1) 単位目		30 人	
④ 「GP①」の目的分類を、下記 01~17 のうち、 <u>1つのみに</u> ○					
疾患別	01. 物質依存 02. 摂食障害 03. 発達障害 04. パーソナリティ障害 05. 統合失調症 06. 気分・不安障害	目的別	07. 生活機能維持 08. 病状悪化予防 (疾病教育等) 09. 就労・就学支援 10. 復職支援 11. 再就労支援 12. ひきこもり・孤立支援 13. 混在型	年代別	14. 児童・思春期 15. 青年期 16. 高齢者
	他		17. その他 内容：		

GP①

① グループ名		② 当該グループを実施する単位		③ 当該グループの定員	
		設問 3~6 の () 単位目		人	
④ 「GP①」の目的分類を、下記 01~17 のうち、 <u>1つのみに</u> ○					
疾患別	01. 物質依存 02. 摂食障害 03. 発達障害 04. パーソナリティ障害 05. 統合失調症 06. 気分・不安障害	目的別	07. 生活機能維持 08. 病状悪化予防 (疾病教育等) 09. 就労・就学支援 10. 復職支援 11. 再就労支援 12. ひきこもり・孤立支援 13. 混在型	年代別	14. 児童・思春期 15. 青年期 16. 高齢者
	他		17. その他 内容：		

GP②

① グループ名		② 当該グループを実施する単位		③ 当該グループの定員	
		設問 3~6 の () 単位目		人	
④ 「GP②」の目的分類を、下記 01~17 のうち、 <u>1つのみに</u> ○					
疾患別	01. 物質依存 02. 摂食障害 03. 発達障害 04. パーソナリティ障害 05. 統合失調症 06. 気分・不安障害	目的別	07. 生活機能維持 08. 病状悪化予防 (疾病教育等) 09. 就労・就学支援 10. 復職支援 11. 再就労支援 12. ひきこもり・孤立支援 13. 混在型	年代別	14. 児童・思春期 15. 青年期 16. 高齢者
	他		17. その他 内容：		

GP③

① グループ名		② 当該グループを実施する単位		③ 当該グループの定員	
		設問 3~6 の () 単位目		人	
④ 「GP③」の目的分類を、下記 01~17のうち、 <u>1つのみに</u> ○					
疾患別	01. 物質依存 02. 摂食障害 03. 発達障害 04. パーソナリティ障害 05. 統合失調症 06. 気分・不安障害	目的別	07. 生活機能維持 08. 病状悪化予防（疾病教育等） 09. 就労・就学支援 10. 復職支援 11. 再就労支援 12. ひきこもり・孤立支援 13. 混在型	年代別	14. 児童・思春期 15. 青年期 16. 高齢者
				他	17. その他 内容：

GP④

① グループ名		② 当該グループを実施する単位		③ 当該グループの定員	
		設問 3~6 の () 単位目		人	
④ 「GP④」の目的分類を、下記 01~17のうち、 <u>1つのみに</u> ○					
疾患別	01. 物質依存 02. 摂食障害 03. 発達障害 04. パーソナリティ障害 05. 統合失調症 06. 気分・不安障害	目的別	07. 生活機能維持 08. 病状悪化予防（疾病教育等） 09. 就労・就学支援 10. 復職支援 11. 再就労支援 12. ひきこもり・孤立支援 13. 混在型	年代別	14. 児童・思春期 15. 青年期 16. 高齢者
				他	17. その他 内容：

GP⑤

① グループ名		② 当該グループを実施する単位		③ 当該グループの定員	
		設問 3~6 の () 単位目		人	
④ 「GP⑤」の目的分類を、下記 01~17のうち、 <u>1つのみに</u> ○					
疾患別	01. 物質依存 02. 摂食障害 03. 発達障害 04. パーソナリティ障害 05. 統合失調症 06. 気分・不安障害	目的別	07. 生活機能維持 08. 病状悪化予防（疾病教育等） 09. 就労・就学支援 10. 復職支援 11. 再就労支援 12. ひきこもり・孤立支援 13. 混在型	年代別	14. 児童・思春期 15. 青年期 16. 高齢者
				他	17. その他 内容：

設問 8. 設問 7 の「GP①」についてお答え下さい

① 「GP①」の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の実施状況	週に () 日間実施、1 週間の実施合計時間は () 時間				
	月に () 日間実施、1 ヶ月の実施合計時間は () 時間				
② 「GP①」の医師の役割 (通常行っている業務と思われるが、最も重要なものに◎、次に重要なものに○を各々1つ)					
() 01. 利用者の医学的状態の評価	() 05. デイケア実施における責任者				
() 02. 薬物処方に関するコーディネーター	() 06. ケース会議等に参加				
() 03. デイケアのチームリーダー	() 07. スタッフに対する指導助言				
() 04. デイケア計画・立案における責任者	() 08. その他 ()				
③ 貴施設の医師やスタッフが「GP①」で実施する支援	1 ヶ月の 実施回数	1 回あたりの おおよその実施時間			
01. スタッフ会議	回	分			
02. 他機関の関係者を交えたケア会議	回	分			
03. 利用者本人を加えたケア会議 (SDM)	回	分			
04. 精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問 (自宅・職場・その他) 支援	回	分			
05. 精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	回	分			
④ 「GP①」の目標 (すべてに○)					
01. 基本的な生活習慣の修得	02. 身体機能の維持・向上	03. 対人関係の改善			
04. 作業能力・持続性の向上	05. 病識を身につける	06. 社会資源の利用			
07. その他 ()					
⑤ 「GP①」(外来は除く)における家族に対する支援 (すべてに○)					
00. 実施していない	01. 悩み相談 (病気の理解や対応の仕方など)				
02. 家族教室 → 頻度 () / 月、年	03. 家族会				
04. その他 (具体的に:)					
⑥ 「GP①」の平成 28 年 11 月の標準的な 1 週間に実施されたプログラムとその目的					
* プログラム…SST、認知行動療法、料理、体操、ゲーム、ミーティング等、実際に行ったものを記入					
	プログラム	1 週間の実施 時間		プログラム	1 週間の実施 時間
1	休憩や食事等	分	11		分
2		分	12		分
3		分	13		分
4		分	14		分
5		分	15		分
6		分	16		分
7		分	17		分
8		分	18		分
9		分	19		分
10		分	20		分

貴施設のデイケアの種類が「GP①」までの施設は本票は終了です。
ご協力ありがとうございました。
「GP②」がある施設は次ページに進んで下さい。

設問 9. 設問 7 の「GP②」についてお答え下さい

① 「GP②」の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の実施状況	週に () 日間実施、1 週間の実施合計時間は () 時間				
	月に () 日間実施、1 ヶ月の実施合計時間は () 時間				
② 「GP②」の医師の役割 (通常行っている業務と思われるが、最も重要なものに◎、次に重要なものに○を各々1つ)					
() 01. 利用者の医学的状態の評価	() 05. デイケア実施における責任者				
() 02. 薬物処方に関するコーディネーター	() 06. ケース会議等に参加				
() 03. デイケアのチームリーダー	() 07. スタッフに対する指導助言				
() 04. デイケア計画・立案における責任者	() 08. その他 ()				
③ 貴施設の医師やスタッフが「GP②」で実施する支援					
	1 ヶ月の 実施回数	1 回あたりの おおよその実施時間			
01. スタッフ会議	回	分			
02. 他機関の関係者を交えたケア会議	回	分			
03. 利用者本人を加えたケア会議 (SDM)	回	分			
04. 精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問 (自宅・職場・その他) 支援	回	分			
05. 精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	回	分			
④ 「GP②」の目標 (すべてに○)					
01. 基本的な生活習慣の修得	02. 身体機能の維持・向上	03. 対人関係の改善			
04. 作業能力・持続性の向上	05. 病識を身につける	06. 社会資源の利用			
07. その他 ()					
⑤ 「GP②」(外来は除く)における家族に対する支援 (すべてに○)					
00. 実施していない	01. 悩み相談 (病気の理解や対応の仕方など)				
02. 家族教室 → 頻度 () / 月、年	03. 家族会				
04. その他 (具体的に:)					
⑥ 「GP②」の平成 28 年 11 月の標準的な 1 週間に実施されたプログラムとその目的					
* プログラム…SST、認知行動療法、料理、体操、ゲーム、ミーティング等、実際に行ったものを記入					
	プログラム	1 週間の実施 時間		プログラム	1 週間の実施 時間
1	休憩や食事等	分	11		分
2		分	12		分
3		分	13		分
4		分	14		分
5		分	15		分
6		分	16		分
7		分	17		分
8		分	18		分
9		分	19		分
10		分	20		分

貴施設のデイケアの種類が「GP②」までの施設は本票は終了です。
ご協力ありがとうございました。
「GP③」がある施設は次ページに進んで下さい。

設問 10. 設問7の「GP③」についてお答え下さい

① 「GP③」の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の実施状況	週に () 日間実施、1 週間の実施合計時間は () 時間				
	月に () 日間実施、1 ヶ月の実施合計時間は () 時間				
② 「GP③」の医師の役割 (通常行っている業務と思われるが、最も重要なものに◎、次に重要なものに○を各々1つ)					
() 01. 利用者の医学的状態の評価	() 05. デイケア実施における責任者				
() 02. 薬物処方に関するコーディネーター	() 06. ケース会議等に参加				
() 03. デイケアのチームリーダー	() 07. スタッフに対する指導助言				
() 04. デイケア計画・立案における責任者	() 08. その他 ()				
③ 貴施設の医師やスタッフが「GP③」で実施する支援					
	1 ヶ月の 実施回数	1 回あたりの おおよその実施時間			
01. スタッフ会議	回	分			
02. 他機関の関係者を交えたケア会議	回	分			
03. 利用者本人を加えたケア会議 (SDM)	回	分			
04. 精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問 (自宅・職場・その他) 支援	回	分			
05. 精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	回	分			
④ 「GP③」の目標 (すべてに○)					
01. 基本的な生活習慣の修得	02. 身体機能の維持・向上	03. 対人関係の改善			
04. 作業能力・持続性の向上	05. 病識を身につける	06. 社会資源の利用			
07. その他 ()					
⑤ 「GP③」(外来は除く)における家族に対する支援 (すべてに○)					
00. 実施していない	01. 悩み相談 (病気の理解や対応の仕方など)				
02. 家族教室 → 頻度 () /月、年	03. 家族会				
04. その他 (具体的に:)					
⑥ 「GP③」の平成 28 年 11 月の標準的な 1 週間に実施されたプログラムとその目的					
*プログラム…SST、認知行動療法、料理、体操、ゲーム、ミーティング等、実際に行ったものを記入					
	プログラム	1 週間の実施 時間		プログラム	1 週間の実施 時間
1	休憩や食事等	分	11		分
2		分	12		分
3		分	13		分
4		分	14		分
5		分	15		分
6		分	16		分
7		分	17		分
8		分	18		分
9		分	19		分
10		分	20		分

貴施設のデイケアの種類が「GP③」までの施設は本票は終了です。
ご協力ありがとうございました。
「GP④」がある施設は次ページに進んで下さい。

設問 1 1. 設問 7 の「GP④」についてお答え下さい

① 「GP④」の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の実施状況	週に () 日間実施、1 週間の実施合計時間は () 時間				
	月に () 日間実施、1 ヶ月の実施合計時間は () 時間				
② 「GP④」の医師の役割 (通常行っている業務と思われるが、最も重要なものに◎、次に重要なものに○を各々1つ)					
() 01. 利用者の医学的状態の評価	() 05. デイケア実施における責任者				
() 02. 薬物処方に関するコーディネーター	() 06. ケース会議等に参加				
() 03. デイケアのチームリーダー	() 07. スタッフに対する指導助言				
() 04. デイケア計画・立案における責任者	() 08. その他 ()				
③ 貴施設の医師やスタッフが「GP④」で実施する支援					
	1 ヶ月の 実施回数	1 回あたりの おおよその実施時間			
01. スタッフ会議	回	分			
02. 他機関の関係者を交えたケア会議	回	分			
03. 利用者本人を加えたケア会議 (SDM)	回	分			
04. 精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問 (自宅・職場・その他) 支援	回	分			
05. 精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	回	分			
④ 「GP④」の目標 (すべてに○)					
01. 基本的な生活習慣の修得	02. 身体機能の維持・向上	03. 対人関係の改善			
04. 作業能力・持続性の向上	05. 病識を身につける	06. 社会資源の利用			
07. その他 ()					
⑤ 「GP④」(外来は除く)における家族に対する支援 (すべてに○)					
00. 実施していない	01. 悩み相談 (病気の理解や対応の仕方など)				
02. 家族教室 → 頻度 () / 月、年	03. 家族会				
04. その他 (具体的に:)					
⑥ 「GP④」の平成 28 年 11 月の標準的な 1 週間に実施されたプログラムとその目的					
* プログラム…SST、認知行動療法、料理、体操、ゲーム、ミーティング等、実際に行ったものを記入					
	プログラム	1 週間の実施 時間		プログラム	1 週間の実施 時間
1	休憩や食事等	分	11		分
2		分	12		分
3		分	13		分
4		分	14		分
5		分	15		分
6		分	16		分
7		分	17		分
8		分	18		分
9		分	19		分
10		分	20		分

貴施設のデイケアの種類が「GP④」までの施設は本票は終了です。
ご協力ありがとうございました。
「GP⑤」がある施設は次ページに進んで下さい。

設問 1 2. 設問 7 の「GP⑤」についてお答え下さい

① 「GP⑤」の平成 28 年 11 月 1 ヶ月間の実施状況	週に () 日間実施、1 週間の実施合計時間は () 時間				
	月に () 日間実施、1 ヶ月の実施合計時間は () 時間				
② 「GP⑤」の医師の役割 (通常行っている業務と思われるが、最も重要なものに◎、次に重要なものに○を各々1つ)					
() 01. 利用者の医学的状態の評価	() 05. デイケア実施における責任者				
() 02. 薬物処方に関するコーディネーター	() 06. ケース会議等に参加				
() 03. デイケアのチームリーダー	() 07. スタッフに対する指導助言				
() 04. デイケア計画・立案における責任者	() 08. その他 ()				
③ 貴施設の医師やスタッフが「GP⑤」で実施する支援					
	1 ヶ月の 実施回数	1 回あたりの おおよその実施時間			
01. スタッフ会議	回	分			
02. 他機関の関係者を交えたケア会議	回	分			
03. 利用者本人を加えたケア会議 (SDM)	回	分			
04. 精神科デイ・ケア等スタッフによる訪問 (自宅・職場・その他) 支援	回	分			
05. 精神科デイ・ケア等スタッフによる個別の同行支援	回	分			
④ 「GP⑤」の目標 (すべてに○)					
01. 基本的な生活習慣の修得	02. 身体機能の維持・向上	03. 対人関係の改善			
04. 作業能力・持続性の向上	05. 病識を身につける	06. 社会資源の利用			
07. その他 ()					
⑤ 「GP⑤」(外来は除く)における家族に対する支援 (すべてに○)					
00. 実施していない	01. 悩み相談 (病気の理解や対応の仕方など)				
02. 家族教室 → 頻度 () / 月、年	03. 家族会				
04. その他 (具体的に:)					
⑥ 「GP⑤」の平成 28 年 11 月の標準的な 1 週間に実施されたプログラムとその目的					
* プログラム…SST、認知行動療法、料理、体操、ゲーム、ミーティング等、実際に行ったものを記入					
	プログラム	1 週間の実施 時間		プログラム	1 週間の実施 時間
1	休憩や食事等	分	11		分
2		分	12		分
3		分	13		分
4		分	14		分
5		分	15		分
6		分	16		分
7		分	17		分
8		分	18		分
9		分	19		分
10		分	20		分

貴施設のデイケアの種類が「GP⑤」までの施設は本票は終了です。
ご協力ありがとうございました。
6 種類以上ある施設は、当該ページをコピーして追記して下さい。

精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
ご本人用・6ヶ月後調査票

施設名		お名前		様
調査票記入日	年	月	日	

お書きになる時の注意

1. 原則としてあなた自身がお書き下さい。
2. 1人で回答することが難しい場合は、病院のスタッフに回答の記入を手伝ってもらってください。
3. 今日現在の状況をお書きください。

A. ①～⑧の各項目について、「いつもそうである」から「いつもそうではない」の中から、**もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。**

① 私は、この地域の一員であると感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
② 私は、この地域をよくわかっている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
③ 私は、住んでいるところの生活ルールを守りながら暮らしている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
④ 私は、この地域の人たちに受け入れられているように感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑤ 私は、この地域で自立した生活ができる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑥ 私は、今、住んでいるところが気に入っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑦ この地域には、私にとって親しい人がいる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑧ この地域の人たちと私は、よくあいさつを交わす 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑨ 私には、この地域で楽しんでしていることがある 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑩ 私は、この地域で充実した日課を送っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

**精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
6ヶ月後患者票 (スタッフ用)**

当該利用者についてご記入下さい

施設名		お名前		様
調査票記入日	年	月	日	

設問 1. 当該利用者の現在の状況 (あてはまるもの 1つに○)

()	01. 利用継続中	
()	02. 登録されているが、直近1ヶ月利用なし → (最終通所日: _____ 月 _____ 日)	
()	03. 終了・中止等	

設問2. LASMI (精神障害者社会生活評価尺度) ~「LASMI利用マニュアル」参照~

(重要) 調査票記入日の直近の状態についてお書き下さい

終了や中止等で現在通所されていない場合は、最終通所日の状態についてお書き下さい

LASMI・フェイスシートⅡ (LASMI利用マニュアル P4-5参照)

わかる限り記載して下さい。不明の場合、特に指示がなければ、9 9と記載して下さい。

09. 精神科初診時の年齢	
10. 精神科入院回数 (入院経験なしは0と記入)	
11. 精神科通算入院期間 (入院経験なしは0と記入、3年以上の場合は月数不要)	
12. 発病前の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
13. 発病後の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
14. 生活臨床でいう生活類型 (生活類型については、LASMI利用マニュアルP5を参照) ① 能動型 ② 受動型 ③ 未定・不明	
15. 自殺企図 (自傷を含む) ① 無し ② 過去1ヶ月以内にあった ③ 過去1ヶ月から1年以内にあった ④ 過去1年以前にあった ⑤ 不明	
16. 他者への暴力行為 ① 無し ② 過去1ヶ月以内にあった ③ 過去1ヶ月から1年以内にあった ④ 過去1年以前にあった ⑤ 不明	
17. 性的逸脱行為 (露出・接触・性的強要) ① 無し ② 過去1ヶ月以内にあった ③ 過去1ヶ月から1年以内にあった ④ 過去1年以前にあった ⑤ 不明	
18. 問題飲酒 (生活の破綻につながるような度を越した飲酒) ① 無し ② 過去1ヶ月以内にあった ③ 過去1ヶ月から1年以内にあった ④ 過去1年以前にあった ⑤ 不明	

様式B-9) 6ヶ月後患者票 (スタッフ用)

LASMI・得点記入票

1. D (Daily living) /日常生活

LASMI利用マニュアルP 6 – 9を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

D-1.	生活リズムの確立	
D-2.	身だしなみへの配慮－整容	
D-3.	身だしなみへの配慮－服装	
D-4.	居室の掃除やかたづけ	
D-5.	バランスのよい食生活	
D-6.	交通機関	
D-7.	金融機関	
D-8.	買物	
D-9.	大切な物の管理	
D-10.	金銭管理	
D-11.	服薬管理	
D-12.	自由時間の過ごし方	

2. I (Interpersonal relations) /対人関係

I-1.	発語の明瞭さ	
I-2.	自発性	
I-3.	状況判断	
I-4.	理解力	
I-5.	主張	
I-6.	断わる	
I-7.	応答	
I-8.	協調性	
I-9.	マナー	
I-10.	自主的なつきあい	
I-11.	援助者とのつきあい	
I-12.	友人とのつきあい	
I-13.	異性とのつきあい	

3. W (Work) /労働または課題の遂行

LASMI利用マニュアルP 9 – 10を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

W-1.	役割の自覚	
W-2.	課題への挑戦	
W-3.	課題達成の見通し	
W-4.	手順の理解	
W-5.	手順の変更	
W-6.	課題遂行の自主性	
W-7.	持続性・安定性	
W-8.	ペースの変更	
W-9.	あいまいさに対する対処	
W-10.	ストレス耐性	

4. E (Endurance & Stability) /持続性・安定性

LASMI利用マニュアルP 10 – 11を参照の上、0～5のいずれかの数字を記入して下さい

E-1.	現在の社会適応度	
------	----------	--

LASMI利用マニュアルP 11を参照の上、0～6のいずれかの数字を記入して下さい

E-2.	持続性・安定性の傾向	
------	------------	--

5. R (self Recognition) /自己認識

LASMI利用マニュアルP 11を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

R-1.	障害の理解	
R-2.	過大 (過小) な自己評価	
R-3.	現実離れ	

設問 3. 終了・中止等に関する情報

設問 1 にて「03. 終了・中止等」を選択した方のみお答え下さい

① 最終来院日	年 月 日
② 当該利用者はどちらに該当しますか (1つに○)	01. 終了 02. 中止・中断等
③ 終了後の進路について、下記からもっとも当てはまるもの1つのみ○	
01. 家庭復帰	07. 就労移行支援事業所
02. 就労 (自営を含む)	08. 就業・生活支援センター
03. 復職 (自営を含む)	09. 就労継続支援B型
04. 就学	10. 地域生活支援センター
05. 復学	11. その他
06. 就労継続支援A型/特例子会社	()
④ 中止・中断の理由について、下記からもっとも当てはまるもの1つのみ○	
01. 入院 (精神疾患)	07. 転院 (転居含む)
02. 入院 (身体疾患)	08. 失職 (自己都合・会社都合問わず)
03. 病状悪化 (精神疾患)	09. 退学
04. 病状悪化 (身体疾患)	10. 経済的理由
05. 自殺	11. 通所拒否 (一定期間通所なし等)
06. 自殺以外による死亡	12. その他 ()

～本票は以上で終了です～

精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
ご本人用・12ヶ月後調査票

施設名		お名前		様
調査票記入日	年	月	日	

お書きになる時の注意

1. 原則としてあなた自身がお書き下さい。
2. 1人で回答することが難しい場合は、病院のスタッフに回答の記入を手伝ってもらってください。
3. 今日現在の状況をお書きください。

A. ①～⑧の各項目について、「いつもそうである」から「いつもそうではない」の中から、**もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。**

① 私は、この地域の一員であると感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
② 私は、この地域をよくわかっている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
③ 私は、住んでいるところの生活ルールを守りながら暮らしている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
④ 私は、この地域の人たちに受け入れられているように感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑤ 私は、この地域で自立した生活ができる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑥ 私は、今、住んでいるところが気に入っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑦ この地域には、私にとって親しい人がいる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑧ この地域の人たちと私は、よくあいさつを交わす 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑨ 私には、この地域で楽しんでしていることがある 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑩ 私は、この地域で充実した日課を送っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

**精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
12ヶ月後患者票 (スタッフ用)**

当該利用者についてご記入下さい

施設名		スタッフ様記入日	年	月	日
患者氏名		デイケア利用開始日	年	月	日
主として利用している GP番号		GP名			

設問 1. 当該利用者の現在の状況 (あてはまるもの 1つに○)

- | | |
|---------|--|
| () | 01. 利用継続中 |
| () | 02. 登録されているが、直近 1ヶ月利用なし → (最終通所日: 月 日) |
| () | 03. 終了・中止等 |

**設問2. LASMI (精神障害者社会生活評価尺度) ~「LASMI利用マニュアル」参照~
(重要) 調査票記入日の直近の状態についてお書き下さい**

LASMI・フェイスシートⅡ (LASMI利用マニュアル P4-5参照)

わかる限り記載して下さい。不明の場合、特に指示がなければ、9 9と記載して下さい。

09. 精神科初診時の年齢	
10. 精神科入院回数 (入院経験なしは0と記入)	
11. 精神科通算入院期間 (入院経験なしは0と記入、3年以上の場合は月数不要)	
12. 発病前の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
13. 発病後の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
14. 生活臨床でいう生活類型 (生活類型については、LASMI利用マニュアルP5を参照) ① 能動型 ② 受動型 ③ 未定・不明	
15. 自殺企図 (自傷を含む) ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	
16. 他者への暴力行為 ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	
17. 性的逸脱行為 (露出・接触・性的強要) ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	
18. 問題飲酒 (生活の破綻につながるような度を越した飲酒) ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	

様式B-12) 12ヶ月後患者票 (スタッフ用)

LASMI・得点記入票

1. D (Daily living) /日常生活

LASMI利用マニュアルP 6 - 9を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

D-1.	生活リズムの確立	
D-2.	身だしなみへの配慮-整容	
D-3.	身だしなみへの配慮-服装	
D-4.	居室の掃除やかたづけ	
D-5.	バランスのよい食生活	
D-6.	交通機関	
D-7.	金融機関	
D-8.	買物	
D-9.	大切な物の管理	
D-10.	金銭管理	
D-11.	服薬管理	
D-12.	自由時間の過ごし方	

2. I (Interpersonal relations) /対人関係

I-1.	発語の明瞭さ	
I-2.	自発性	
I-3.	状況判断	
I-4.	理解力	
I-5.	主張	
I-6.	断わる	
I-7.	応答	
I-8.	協調性	
I-9.	マナー	
I-10.	自主的なつきあい	
I-11.	援助者とのつきあい	
I-12.	友人とのつきあい	
I-13.	異性とのつきあい	

3. W (Work) /労働または課題の遂行

LASMI利用マニュアルP 9 - 10を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

W-1.	役割の自覚	
W-2.	課題への挑戦	
W-3.	課題達成の見通し	
W-4.	手順の理解	
W-5.	手順の変更	
W-6.	課題遂行の自主性	
W-7.	持続性・安定性	
W-8.	ペースの変更	
W-9.	あいまいさに対する対処	
W-10.	ストレス耐性	

4. E (Endurance & Stability) /持続性・安定性

LASMI利用マニュアルP 10 - 11を参照の上、0～5のいずれかの数字を記入して下さい

E-1.	現在の社会適応度	
------	----------	--

LASMI利用マニュアルP 11を参照の上、0～6のいずれかの数字を記入して下さい

E-2.	持続性・安定性の傾向	
------	------------	--

5. R (self Recognition) /自己認識

LASMI利用マニュアルP 11を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

R-1.	障害の理解	
R-2.	過大 (過小) な自己評価	
R-3.	現実離れ	

設問 3. 終了・中止等に関する情報

設問 1 にて「03. 終了・中止等」を選択した方のみお答え下さい

① 最終来院日	年 月 日
② 当該利用者はどちらに該当しますか（1つに○）	01. 終了 02. 中止・中断等
③ 終了後の進路について、下記から <u>もっとも当てはまるもの1つのみ</u> ○	
01. 家庭復帰	07. 就労移行支援事業所
02. 就労（自営を含む）	08. 就業・生活支援センター
03. 復職（自営を含む）	09. 就労継続支援B型
04. 就学	10. 地域生活支援センター
05. 復学	11. その他
06. 就労継続支援A型／特例子会社	（ ）
④ 中止・中断の理由について、下記から <u>もっとも当てはまるもの1つのみ</u> ○	
01. 入院（精神疾患）	07. 転院（転居含む）
02. 入院（身体疾患）	08. 失職（自己都合・会社都合問わず）
03. 病状悪化（精神疾患）	09. 退学
04. 病状悪化（身体疾患）	10. 経済的理由
05. 自殺	11. 通所拒否（一定期間通所なし等）
06. 自殺以外による死亡	12. その他（ ）

～本票は以上で終了です～

精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
ご本人用・18ヶ月後調査票

施設名		お名前		様
調査票記入日	年	月	日	

お書きになる時の注意

1. 原則としてあなた自身がお書き下さい。
2. 1人で回答することが難しい場合は、病院のスタッフに回答の記入を手伝ってもらってください。
3. 今日現在の状況をお書きください。

A. ①～⑧の各項目について、「いつもそうである」から「いつもそうではない」の中から、**もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。**

① 私は、この地域の一員であると感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
② 私は、この地域をよくわかっている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
③ 私は、住んでいるところの生活ルールを守りながら暮らしている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
④ 私は、この地域の人たちに受け入れられているように感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑤ 私は、この地域で自立した生活ができる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑥ 私は、今、住んでいるところが気に入っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑦ この地域には、私にとって親しい人がいる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑧ この地域の人たちと私は、よくあいさつを交わす 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑨ 私には、この地域で楽しんでしていることがある 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑩ 私は、この地域で充実した日課を送っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない

B. 以下の①～⑧の各項目について、**もっとも当てはまる数字1つに○をつけてください。**

① あなたが受けたプログラムの質はどの程度でしたか。

4	3	2	1
大変よい	よい	まあまあ	よくない

② あなたが望んでいたプログラムは受けられましたか。

1	2	3	4
全く受けなかった	そうでもなかった	だいたい受けた	十分に受けた

③ このプログラムは、どの程度あなたが必要としたものでしたか。

4	3	2	1
ほぼ全て必要としたもの	だいたい必要としたもの	いくらかは必要としたもの	全く必要としたものではなかった

④ もし知人が同じ援助を必要としていたら、プログラムを推薦しますか。

1	2	3	4
絶対にしない	しないと思う	すると思う	絶対する

⑤ 受けた援助の量に満足していますか。

1	2	3	4
とても不満	どちらでもないか 少し不満	ほぼ満足	とても満足

⑥ 受けたプログラムは、あなたが自分の問題によりよく対処するのに役立ちましたか。

4	3	2	1
大いに役立った	まあまあ役立った	全く役立たなかった	悪影響を及ぼした

⑦ 全体的として一般的にいて、あなたが受けたプログラムに満足していますか。

4	3	2	1
とても満足	だいたい満足	どちらでもないか 少し不満	とても不満

⑧ また援助が必要となったとき、このプログラムをもう一度受けたいと思いますか。

1	2	3	4
絶対受けない	受けないと思う	受けると思う	絶対受ける

調査は以上で終了です。
ご協力ありがとうございました。

**精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
18ヶ月後患者票 (スタッフ用)**

当該利用者についてご記入下さい

施設名		スタッフ様記入日	年	月	日
患者氏名		デイケア利用開始日	年	月	日
主として利用している GP番号		GP名			

設問 1. 当該利用者の現在の状況 (あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|---------|--|
| () | 01. 利用継続中 |
| () | 02. 登録されているが、直近 1ヶ月利用なし → (最終通所日: 月 日) |
| () | 03. 終了・中止等 |

**設問2. LASMI (精神障害者社会生活評価尺度) ~「LASMI利用マニュアル」参照~
(重要) 調査票記入日の直近の状態についてお書き下さい**

LASMI・フェイスシートⅡ (LASMI利用マニュアル P4-5参照)

わかる限り記載して下さい。不明の場合、特に指示がなければ、9 9と記載して下さい。

09. 精神科初診時の年齢	
10. 精神科入院回数 (入院経験なしは0と記入)	
11. 精神科通算入院期間 (入院経験なしは0と記入、3年以上の場合は月数不要)	
12. 発病前の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
13. 発病後の最長の就業年数 (雇用関係を結んだ職場、アルバイトも可)	
14. 生活臨床でいう生活類型 (生活類型については、LASMI利用マニュアルP5を参照) ① 能動型 ② 受動型 ③ 未定・不明	
15. 自殺企図 (自傷を含む) ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	
16. 他者への暴力行為 ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	
17. 性的逸脱行為 (露出・接触・性的強要) ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	
18. 問題飲酒 (生活の破綻につながるような度を越した飲酒) ① 無し ② 過去 1ヶ月以内にあった ③ 過去 1ヶ月から 1年以内にあった ④ 過去 1年以前にあった ⑤ 不明	

**精神科デイ・ケア等の機能と転帰に関する大規模調査研究
ご本人用・終了等調査票**

施設名		お名前		様
調査票記入日	年	月	日	

お書きになる時の注意

1. 原則としてあなた自身がお書き下さい。
2. 1人で回答することが難しい場合は、病院のスタッフに回答の記入を手伝ってもらってください。
3. 今日現在の状況をお書きください。

A. ①～⑧の各項目について、「いつもそうである」から「いつもそうではない」の中から、**もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。**

① 私は、この地域の一員であると感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
② 私は、この地域をよくわかっている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
③ 私は、住んでいるところの生活ルールを守りながら暮らしている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
④ 私は、この地域の人たちに受け入れられているように感じる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑤ 私は、この地域で自立した生活ができる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑥ 私は、今、住んでいるところが気に入っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑦ この地域には、私にとって親しい人がいる 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑧ この地域の人たちと私は、よくあいさつを交わす 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑨ 私には、この地域で楽しんでしていることがある 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない
⑩ 私は、この地域で充実した日課を送っている 1 いつもそうである 2 時々そうである 3 どちらともいえない 4 時々そうではない 5 いつもそうではない

B. 以下の①～⑧の各項目について、**もっとも当てはまる数字 1 つに○をつけてください。**

① あなたが受けたプログラムの質はどの程度でしたか。

4	3	2	1
大変よい	よい	まあまあ	よくない

② あなたが望んでいたプログラムは受けられましたか。

1	2	3	4
全く受けなかった	そうでもなかった	だいたい受けた	十分に受けた

③ このプログラムは、どの程度あなたが必要としたものでしたか。

4	3	2	1
ほぼ全て 必要としたもの	だいたい 必要としたもの	いくらかは 必要としたもの	全く必要としたもの ではなかった

④ もし知人が同じ援助を必要としていたら、プログラムを推薦しますか。

1	2	3	4
絶対にしない	しないと思う	すると思う	絶対する

⑤ 受けた援助の量に満足していますか。

1	2	3	4
とても不満	どちらでもないか 少し不満	ほぼ満足	とても満足

⑥ 受けたプログラムは、あなたが自分の問題によりよく対処するのに役立ちましたか。

4	3	2	1
大いに役立った	まあまあ役立った	全く役立たなかった	悪影響を及ぼした

⑦ 全体的として一般的にいて、あなたが受けたプログラムに満足していますか。

4	3	2	1
とても満足	だいたい満足	どちらでもないか 少し不満	とても不満

⑧ また援助が必要となったとき、このプログラムをもう一度受けたいと思いますか。

1	2	3	4
絶対受けない	受けないと思う	受けると思う	絶対受ける

調査は以上で終了です。
ご協力ありがとうございました。

様式B-15) 18ヶ月後調査票 (スタッフ用)

LASMI・得点記入票

1. D (Daily living) /日常生活

LASMI利用マニュアルP 6 - 9を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

D-1.	生活リズムの確立	
D-2.	身だしなみへの配慮-整容	
D-3.	身だしなみへの配慮-服装	
D-4.	居室の掃除やかたづけ	
D-5.	バランスのよい食生活	
D-6.	交通機関	
D-7.	金融機関	
D-8.	買物	
D-9.	大切な物の管理	
D-10.	金銭管理	
D-11.	服薬管理	
D-12.	自由時間の過ごし方	

2. I (Interpersonal relations) /対人関係

I-1.	発語の明瞭さ	
I-2.	自発性	
I-3.	状況判断	
I-4.	理解力	
I-5.	主張	
I-6.	断わる	
I-7.	応答	
I-8.	協調性	
I-9.	マナー	
I-10.	自主的なつきあい	
I-11.	援助者とのつきあい	
I-12.	友人とのつきあい	
I-13.	異性とのつきあい	

3. W (Work) /労働または課題の遂行

LASMI利用マニュアルP 9 - 10を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

W-1.	役割の自覚	
W-2.	課題への挑戦	
W-3.	課題達成の見通し	
W-4.	手順の理解	
W-5.	手順の変更	
W-6.	課題遂行の自主性	
W-7.	持続性・安定性	
W-8.	ペースの変更	
W-9.	あいまいさに対する対処	
W-10.	ストレス耐性	

4. E (Endurance & Stability) /持続性・安定性

LASMI利用マニュアルP 10 - 11を参照の上、0～5のいずれかの数字を記入して下さい

E-1.	現在の社会適応度	
------	----------	--

LASMI利用マニュアルP 11を参照の上、0～6のいずれかの数字を記入して下さい

E-2.	持続性・安定性の傾向	
------	------------	--

5. R (self Recognition) /自己認識

LASMI利用マニュアルP 11を参照の上、0～4のいずれかの数字を記入して下さい

R-1.	障害の理解	
R-2.	過大 (過小) な自己評価	
R-3.	現実離れ	

設問 3. 終了・中止等に関する情報

設問 1 にて「03. 終了・中止等」を選択した方のみお答え下さい

① 最終来院日	年 月 日
② 当該利用者はどちらに該当しますか (1つに○)	01. 終了 02. 中止・中断等
③ 終了後の進路について、下記から <u>もっとも当てはまるもの1つのみ</u> ○	
01. 家庭復帰	07. 就労移行支援事業所
02. 就労 (自営を含む)	08. 就業・生活支援センター
03. 復職 (自営を含む)	09. 就労継続支援B型
04. 就学	10. 地域生活支援センター
05. 復学	11. その他
06. 就労継続支援A型／特例子会社	()
④ 中止・中断の理由について、下記から <u>もっとも当てはまるもの1つのみ</u> ○	
01. 入院 (精神疾患)	07. 転院 (転居含む)
02. 入院 (身体疾患)	08. 失職 (自己都合・会社都合問わず)
03. 病状悪化 (精神疾患)	09. 退学
04. 病状悪化 (身体疾患)	10. 経済的理由
05. 自殺	11. 通所拒否 (一定期間通所なし等)
06. 自殺以外による死亡	12. その他 ()

～本票は以上で終了です～